

山梨県のシンボル

県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるといった習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。昭和39年6月制定

県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」（虚子）などによまれています。昭和41年9月制定

県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

山梨県ロゴマーク



YAMANASHI

目次

山梨ってどんな県？ 2

グラフでみるやまなし

自然・気象 4

人口 5

経済 7

事業所 8

工業 9

商業 11

農業 12

労働 13

物価 14

家計 15

福祉・医療 16

社会生活 17

教育 18

交通・通信・エネルギー 19

観光・国際交流 20

居住環境 21

災害・事故 22

統計グラフコンクール入賞作品集 23

表紙の説明

「山梨県の山にのぼってみた」

「第70回山梨県統計グラフコンクール」知事賞の山梨学院小学校2年 森川 凜さんの作品です。

山梨ってどんな県？

全国順位上位3以内の主なものを
分業別に掲載しました。

自然

■日照時間(年間)




令和3年度
全国1位 2,319.5時間

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局)

居住

■着工新設持ち家比率
(対着工新設住宅戸数)



令和3年度
全国3位 63.7%

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局)

安全

■消防水利数(人口10万人当たり)



令和3年度
全国2位 3,821.2所

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局)

文化・スポーツ

■図書館数(人口100万人当たり)



平成30年度
全国1位 64.6館

■青少年教育施設数
(人口100万人当たり)



平成30年度
全国3位 17.1所

■多目的運動広場数(公共)
(人口100万人当たり)




平成30年度
全国3位 165.7施設

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局)

労働

■高齢就業者割合
(65歳以上)(対65歳以上人口)

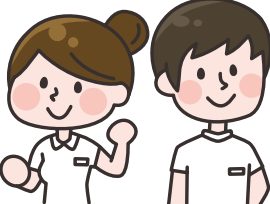


令和2年度
全国2位 29.8%

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局)


健康・医療

■保健師数(人口10万人当たり)



令和2年度
全国3位 80.2人

■健康寿命



令和元年
男性全国2位 73.57年
女性全国2位 76.74年

資料：統計でみる都道府県のすがた2023 (総務省統計局) 資料：厚生科学審議会第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会

農業

■ぶどう収穫量(年間)



令和3年
全国1位 40,600t

■もも収穫量(年間)



令和3年
全国1位 34,600t

■すもも収穫量(年間)



令和3年
全国1位 6,680t

資料：作物統計調査(農林水産省)

農業

■農産物販売金額1位の部門別
農業経営体数構成比(果樹類)



令和2年
全国1位 67.7%

資料：農林業センサス(農林水産省)

工業

■ワイナリー数



令和3年
全国1位 92事業所

資料：酒類製造業及び酒類卸売業の概況(国税庁)

■製成数量
日本ワイン



令和2年度
全国1位 4,334kl

■出荷額(年間)
ミネラルウォーター



令和2年
全国2位 442億円

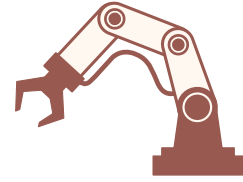
■事業所数
貴金属・宝石製装身具製品製造業



令和3年
全国1位 106事業所

資料：令和3年経済センサスー活動調査(経済産業省)

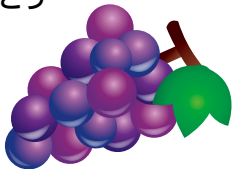
■出荷額(年間)
数値制御ロボット



令和2年
全国1位 2,575億円

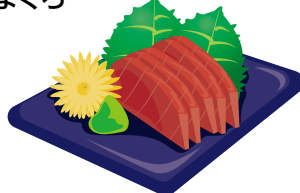
家計

■支出金額(1世帯当たり年間)
ぶどう



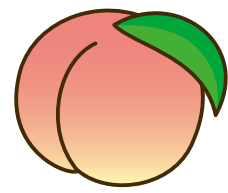
令和元年～令和3年平均
全国1位 7,267円

■支出金額(1世帯当たり年間)
まぐろ



令和元年～令和3年平均
全国2位 8,663円

■支出金額(1世帯当たり年間)
桃



令和元年～令和3年平均
全国2位 3,301円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

社会生活

■支出金額(1世帯当たり年間)
やきとり



令和元年～令和3年平均
全国2位 3,585円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

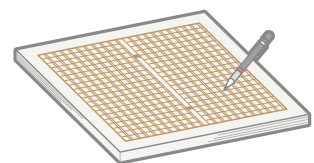
■1日の食事時間



令和3年
全国1位 1時間45分

資料：令和3年社会生活基本調査(総務省統計局)

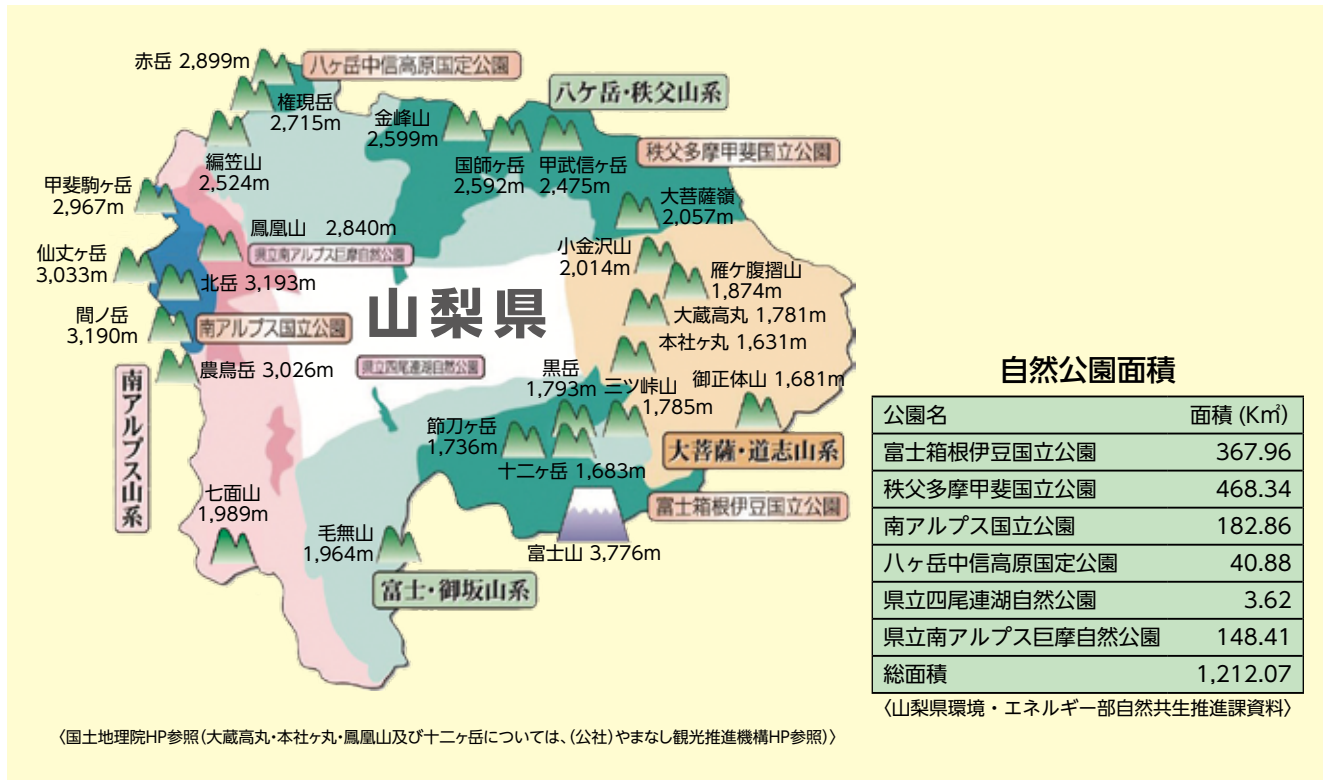
■趣味・娯楽のうち「詩・和歌・俳句・小説などの創作」の行動者率(年間)



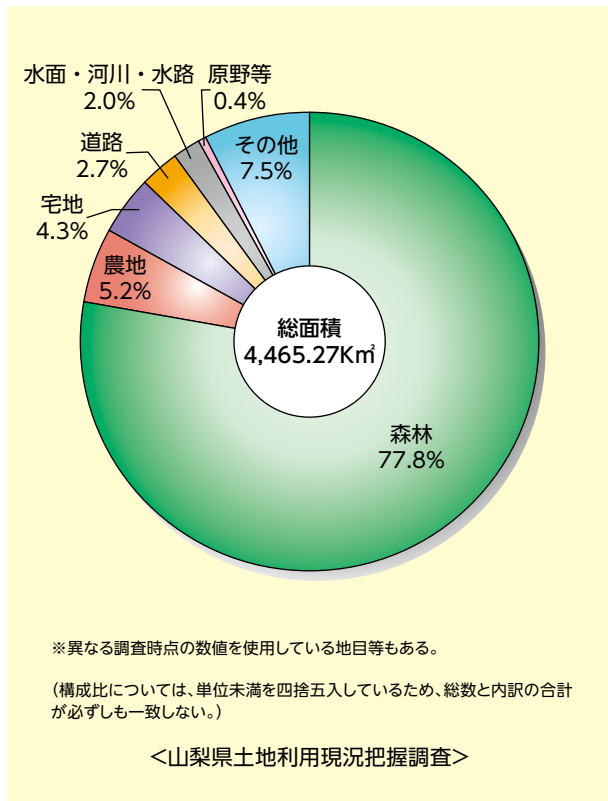
令和3年
全国3位 2.8%

グラフでみるやまなし 自然・気象

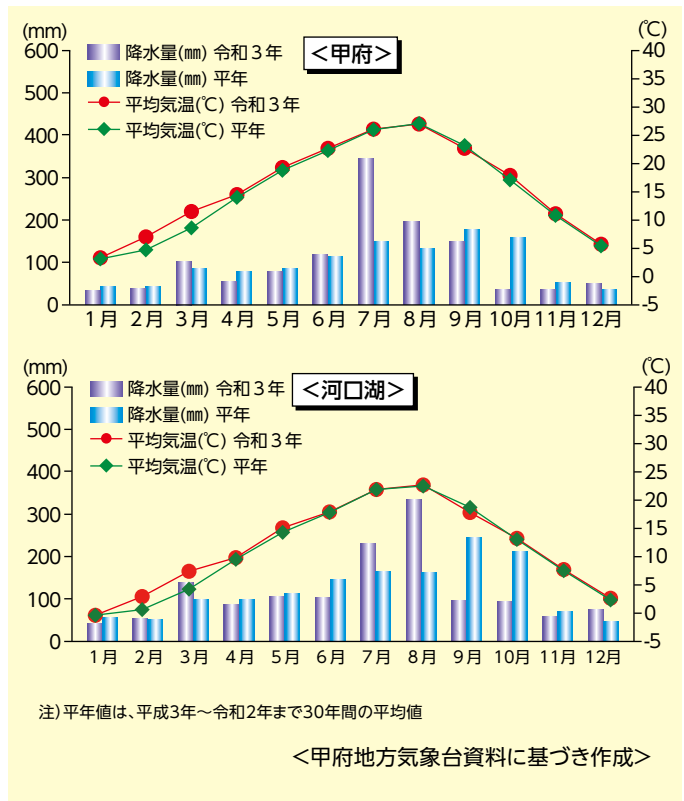
主な山梨百名山・自然公園面積



山梨県土地利用状況(令和3年10月1日)



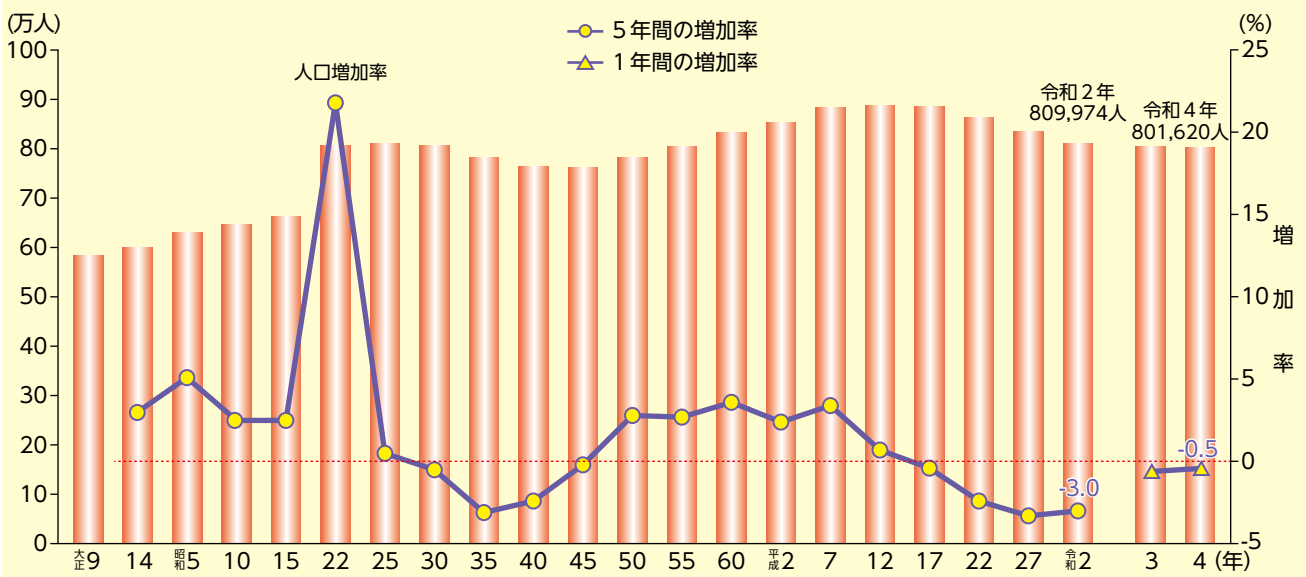
月別平均気温と降水量(令和3年)



本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

人口

本県人口及び人口増加率の推移(大正9年～令和4年) (人口は各年10月1日現在)

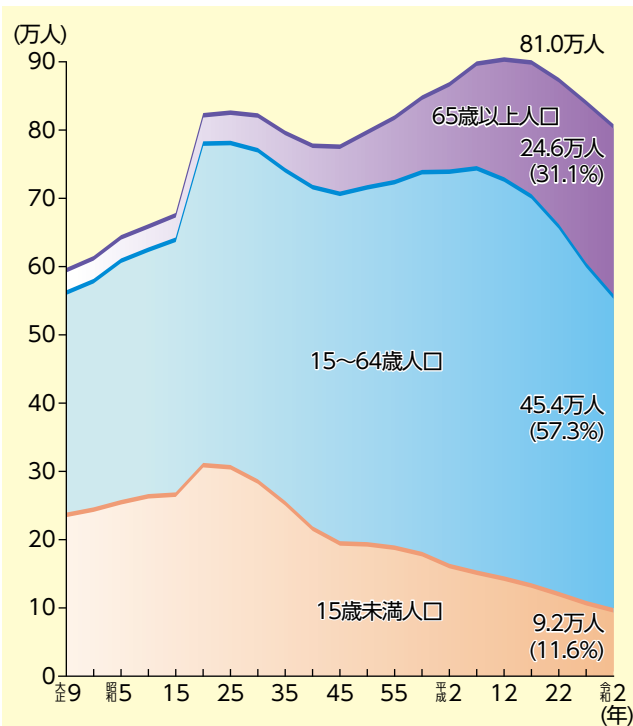


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

注)人口増加率は大正9年～令和2年は5年間の数値、令和3年～令和4年は1年間の数値。そのため令和2年と令和3年は接続しない。

<大正9年～令和2年は総務省「国勢調査」、令和3年と令和4年は「山梨県常住人口調査」>

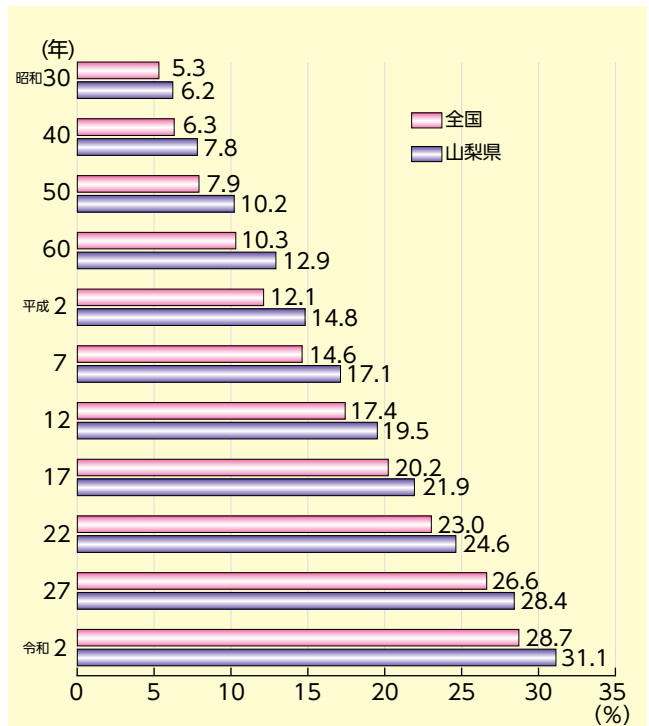
年齢別人口の推移(大正9年～令和2年)



注)総数には年齢不詳を含む。

<総務省「国勢調査」>

本県と全国の65歳以上人口割合の推移(昭和30年～令和2年)

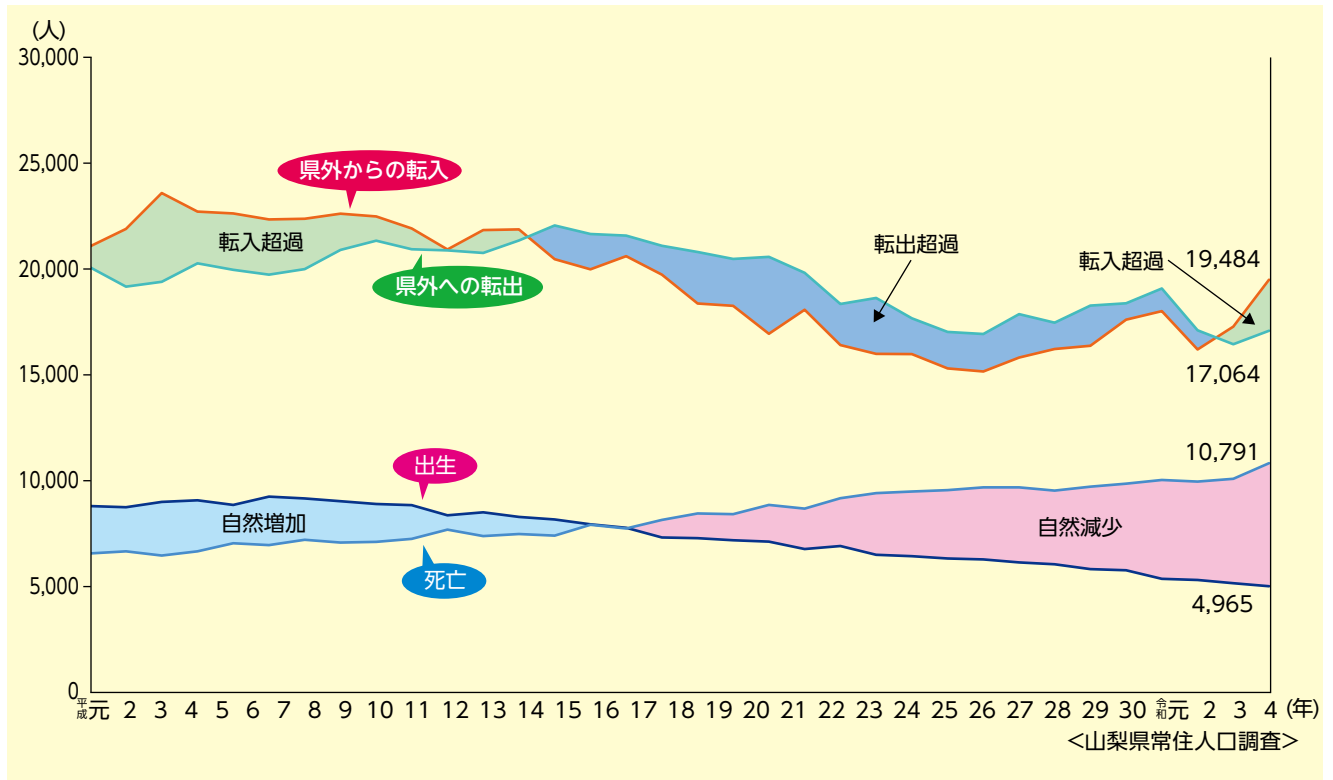


<総務省「国勢調査」>

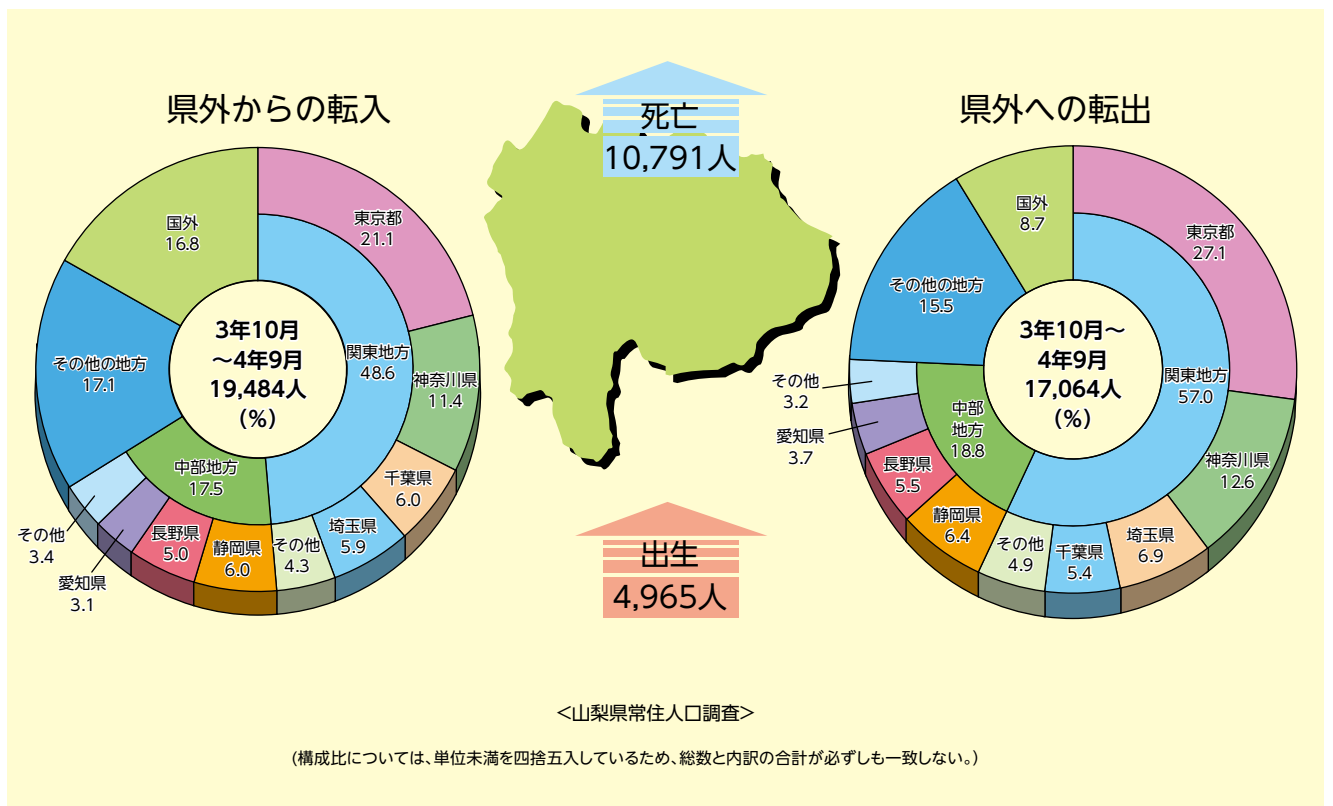
令和4年10月1日現在の人口は、80万1,620人となっています。

令和2年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.2万人(11.6%)、15歳～64歳人口45.4万人(57.3%)、65歳以上人口24.6万人(31.1%)となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることであり、令和2年では本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)



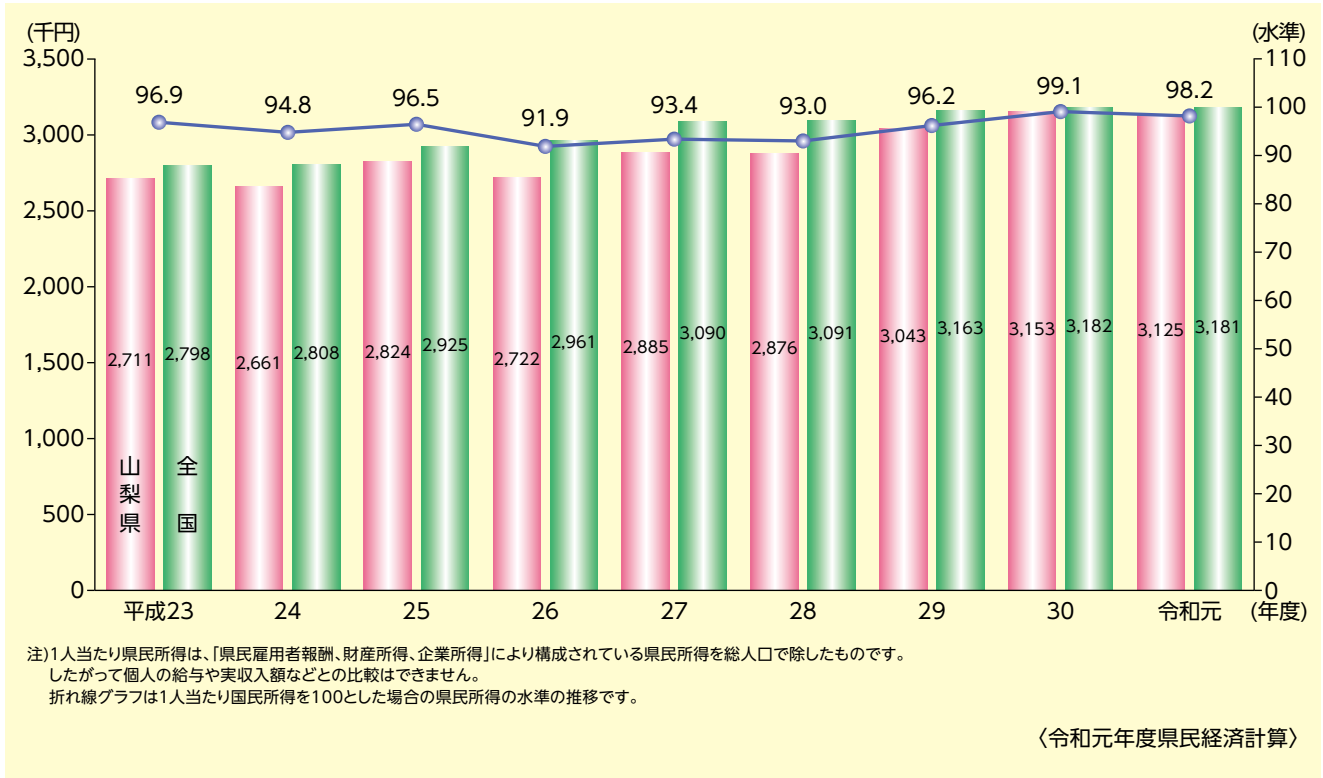
人口動態(令和3年10月1日～4年9月末)



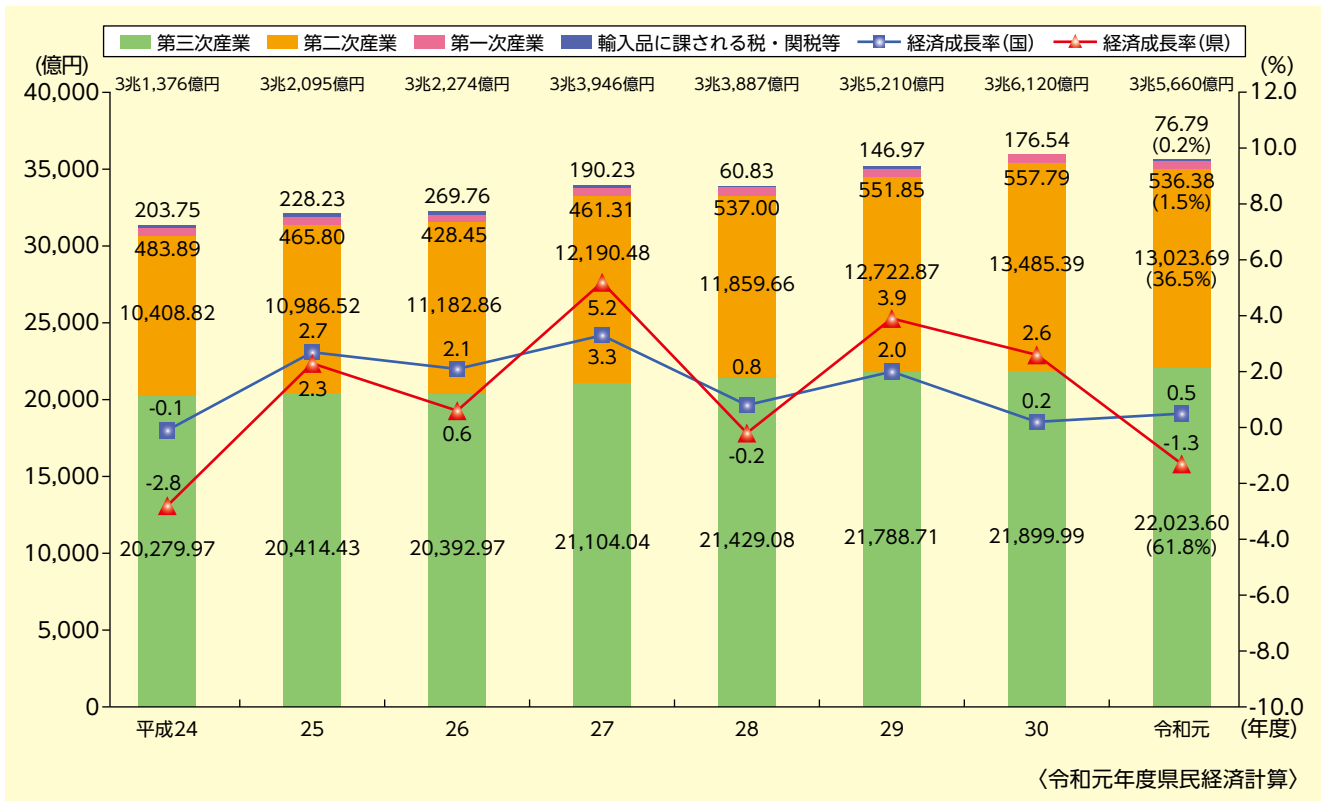
令和3年10月1日から令和4年9月30日までの人口の動きをみると、出生4,965人、死亡10,791人で、5,826人の自然減となっています。また、県外からの転入者は19,484人、転出者は17,064人で、2,420人の転入超過となっています。また、東京都、神奈川県の転入、転出が多くなっています。

経 済

1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移

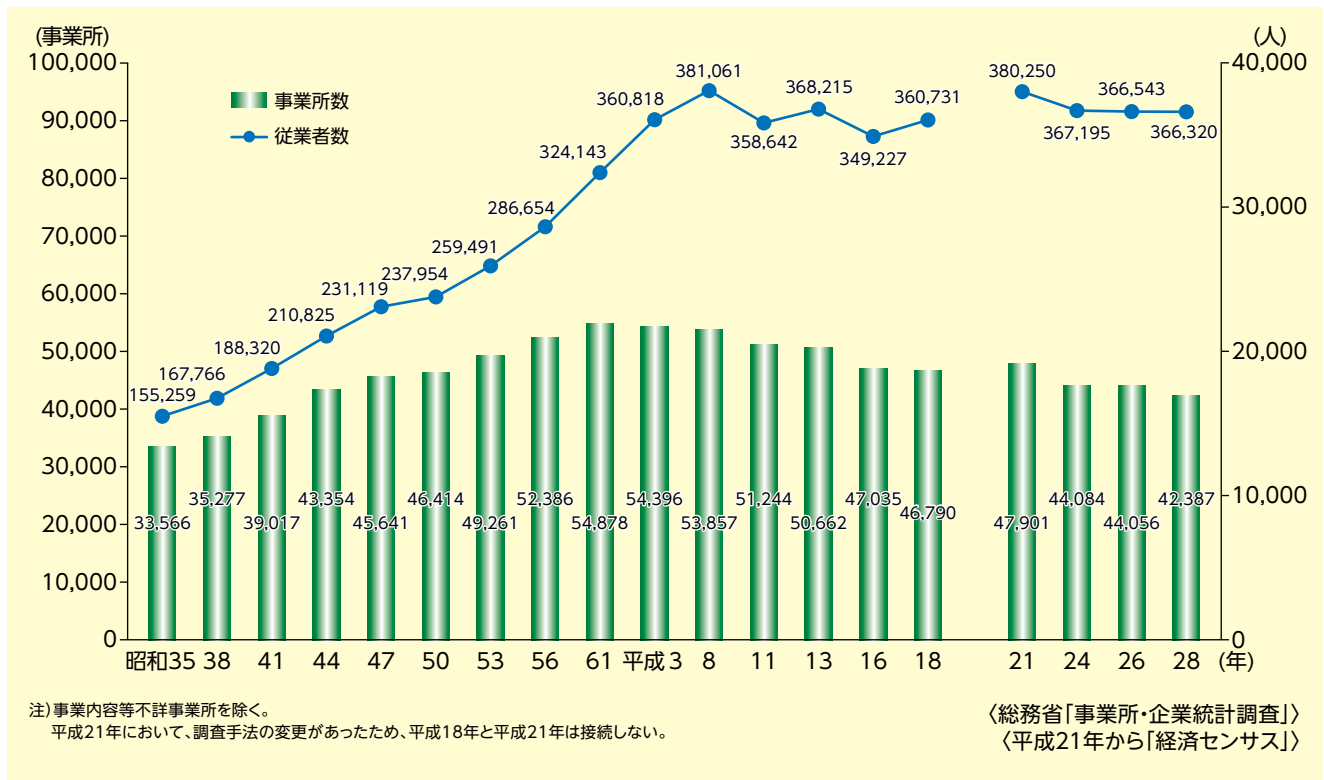


県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)

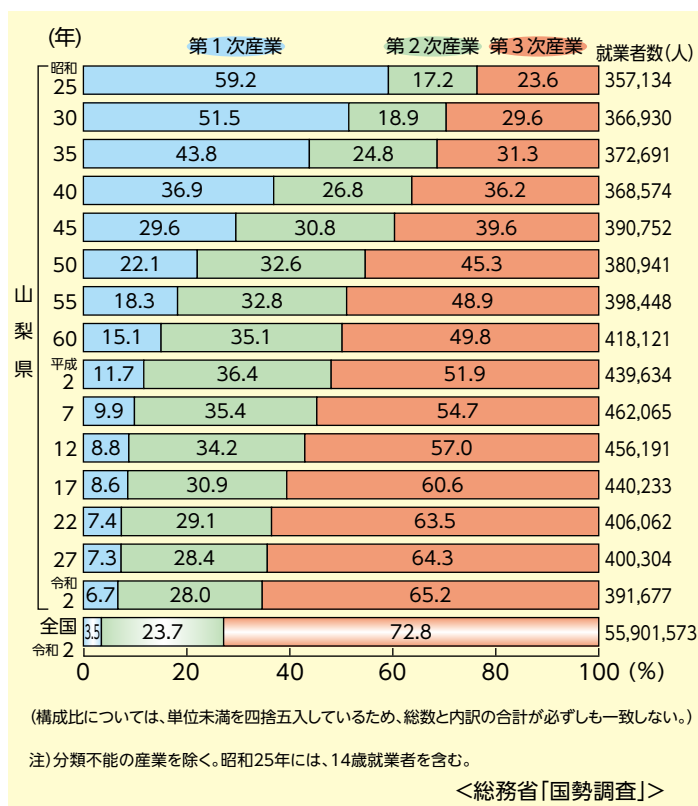


令和元年度の県内総生産は、名目で3兆5,660億円で、前年度に比べて1.3%(460億円)の減少となりました。1人当たり県民所得は3,125千円で、前年度に比べ2万8千円減少しました。また、1人当たり国民所得3,181千円を100とした水準は98.2となり、前年度に比べて0.9ポイント下降しました。

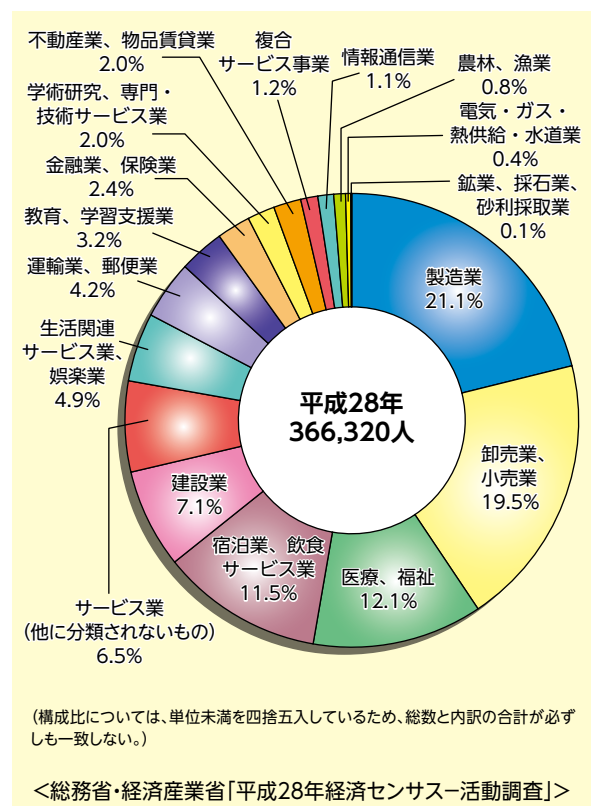
民営事業所数及び従業者数の推移



産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



産業別従業者数構成比

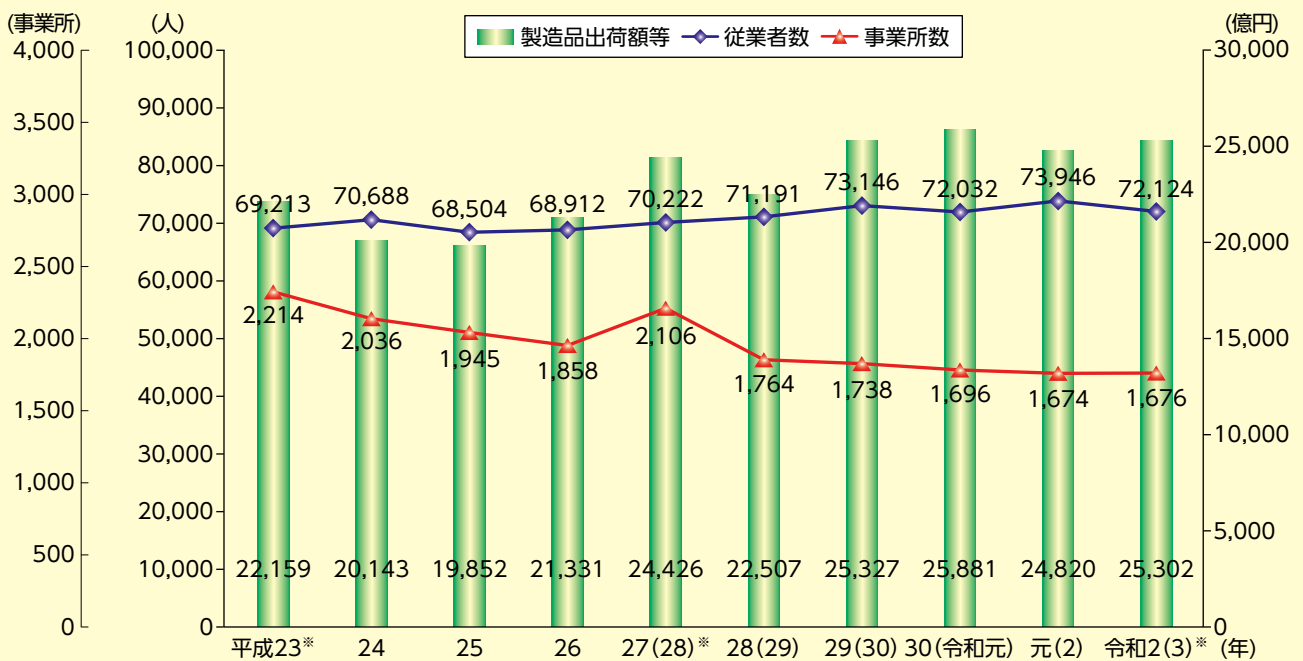


平成28年の事業所数は42,387事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.1%、卸売業、小売業19.5%、医療、福祉12.1%の順となっています。

本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、令和2年は、第1次産業は6.7%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から65.2%へと増加しています。

工業

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)

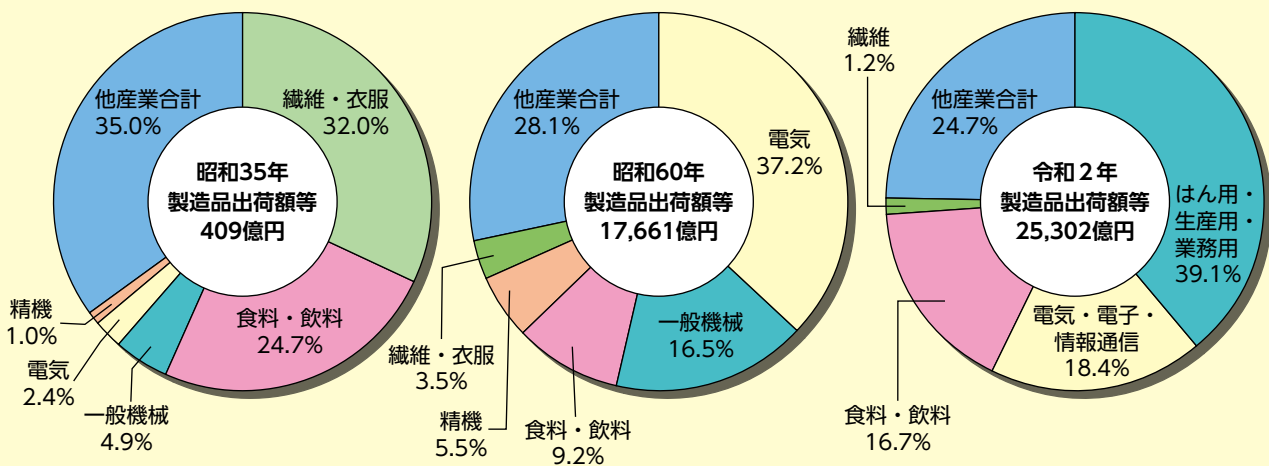


注)27(28)以降の事業所数・従業者数については、()内の年次の数値である。

※印については「経済センサス-活動調査」の数値である。

<経済産業省「工業統計調査」> <総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

産業別製造品出荷額等の構成の変化(従業者4人以上の事業所)



注1)平成14年3月の産業分類改定の主な内容として、「電気機械」は「電気機械」、「電子部品・デバイス」及び「情報通信機械」に分割された。

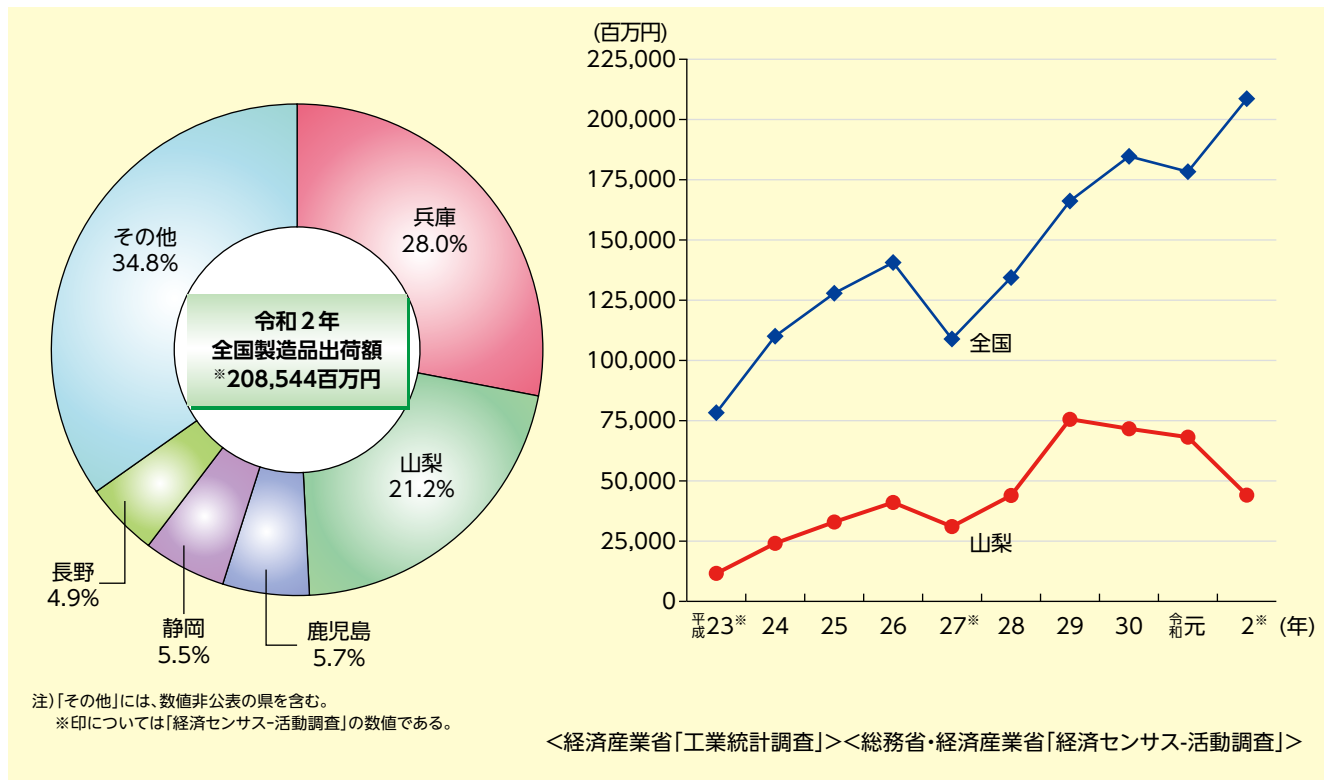
注2)平成19年11月の産業分類改定の主な内容として、「一般機械」が「はん用機械」、「生産用機械」及び「業務用機械」に分割されるとともに、「精密機械」は「業務用機械」と「その他」に分割された。

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

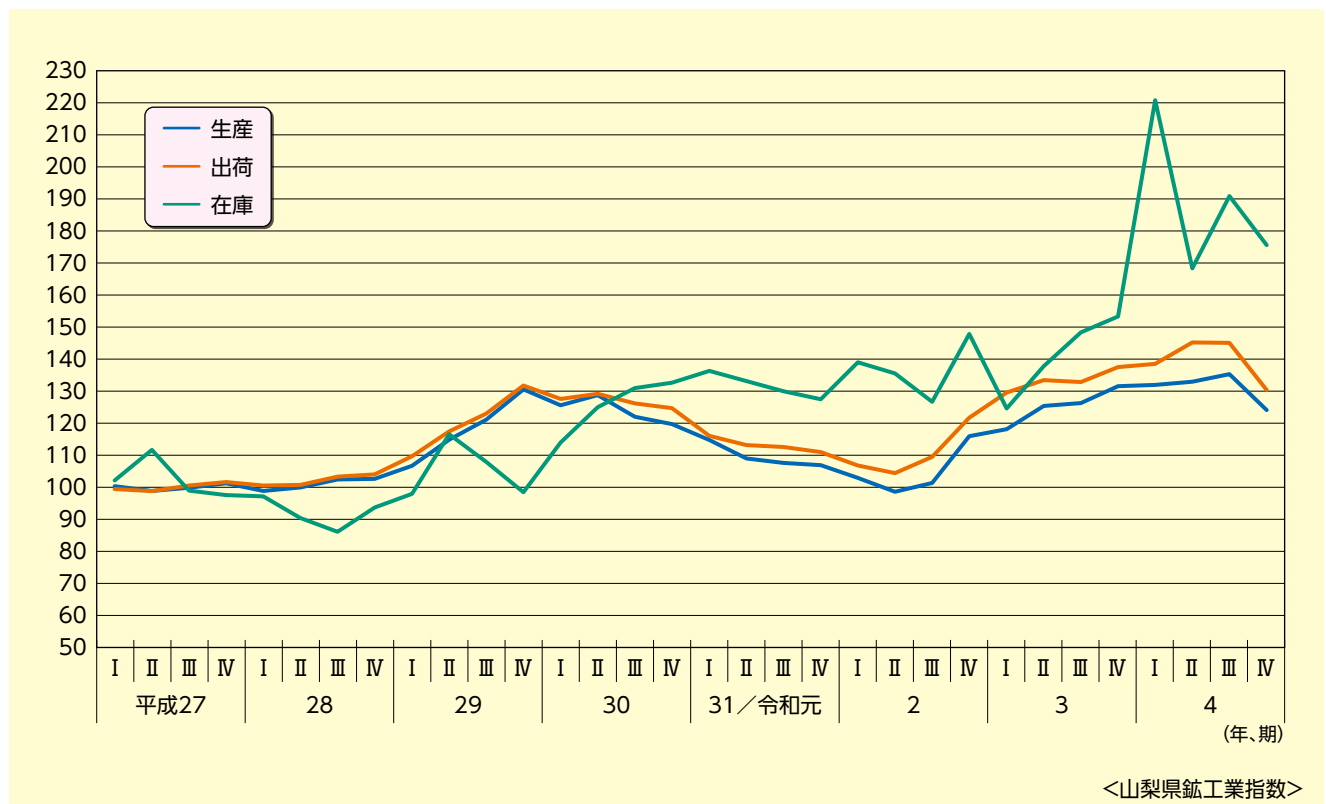
<経済産業省「工業統計調査」>
<総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

令和3年の従業者4人以上の製造業の事業所数は1,676事業所で、前年に比べ増加しましたが、従業者数は72,124人で、前年と比べ減少しました。また、令和2年一年間の製造品出荷額等は2兆5,302億円で、前年に比べ増加しました。産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。令和2年は、はん用・生産用・業務用と電気・電子・情報通信の合計が全体の約6割を占めています。

製造品出荷額「ミネラルウォーター」の推移(従業者4人以上の事業所)



鉱工業指数の推移(平成27年=100 季節調整済)

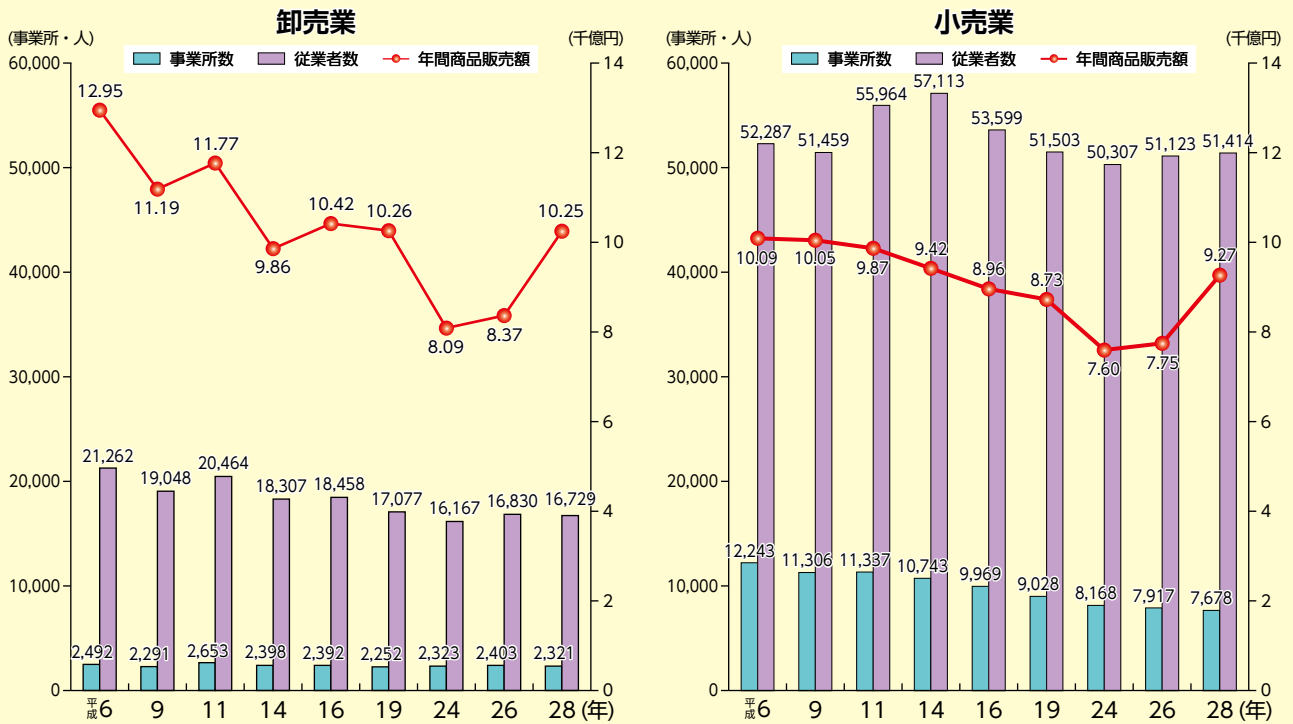


令和2年の品目別製造品出荷額では、「ミネラルウォーター」は442億円で、全国の出荷額の21.2%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成28年Ⅱ期頃から上昇を続け、平成29年度Ⅳ期をピークにして低下傾向にありましたが、令和2年Ⅱ期を境に再び上昇に転じています。

商業

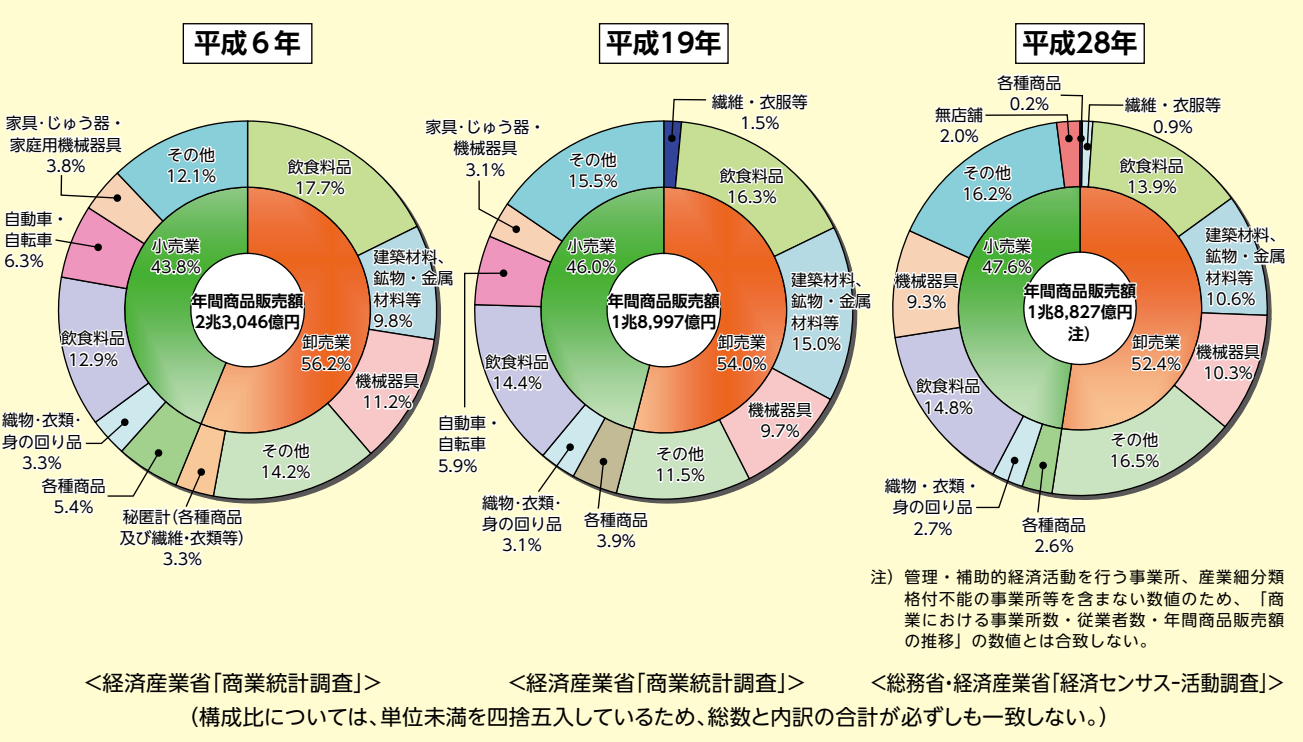
商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



注)平成19年以前及び平成26年の数値は商業統計調査、平成24年及び平成28年の数値は経済センサス-活動調査の数値である。
平成24年、26年及び28年の数値は、管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類の格付不能の事業所等を含む。

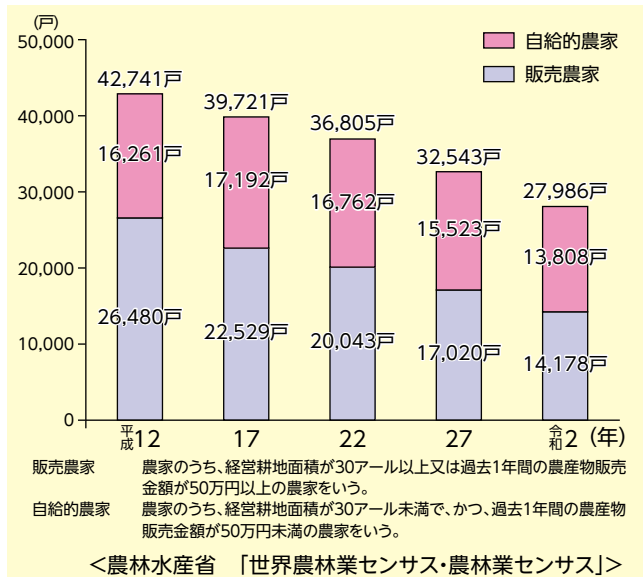
<経済産業省「商業統計調査」>
<総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」>

業種別年間商品販売額構成比の推移

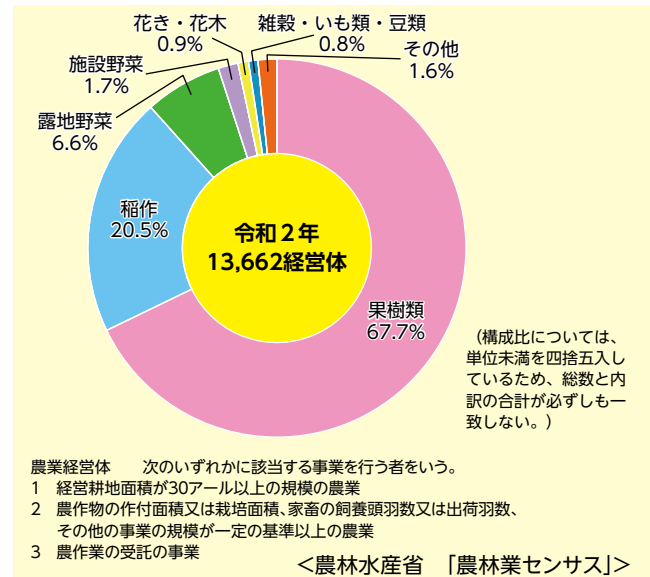


平成28年の卸・小売業数は9,999事業所、従業者数は68,143人、年間商品販売額は1兆9,526億円となっています。
業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。平成28年では新たな業態である無店舗小売業が2.0%となっています。

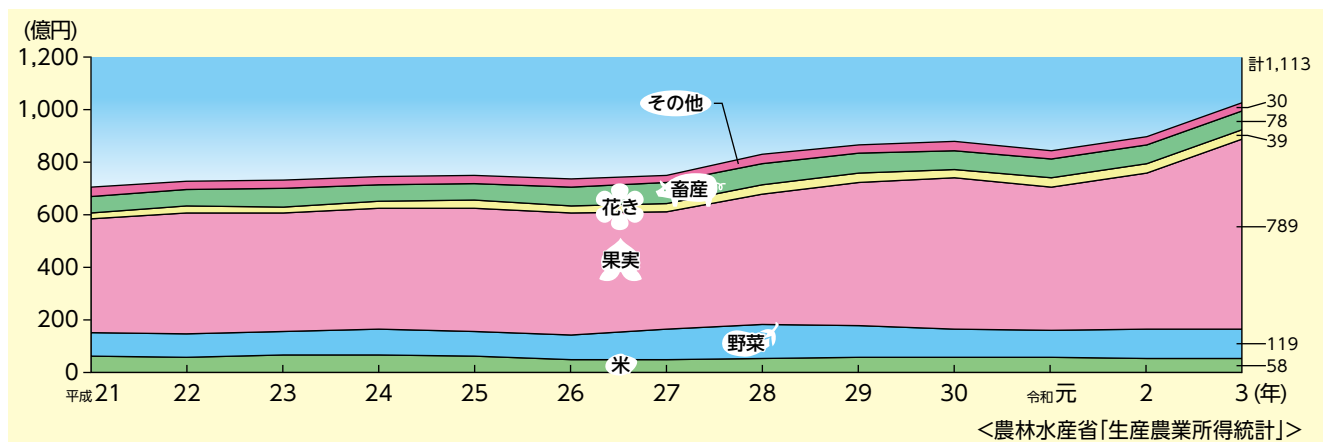
農家数の推移



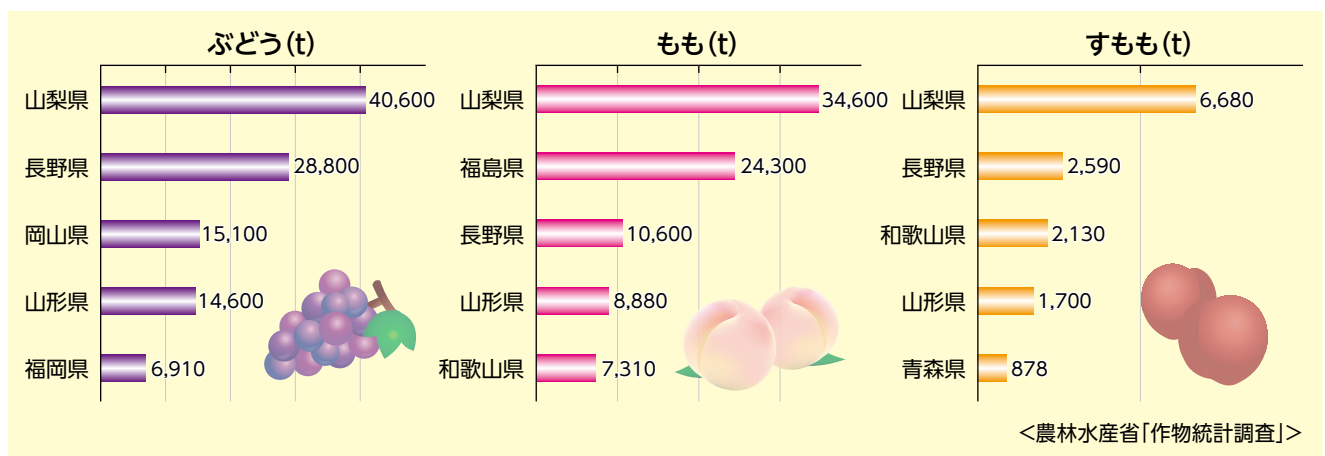
農産物販売金額1位の部門別農業経営体数構成比



農業産出額の推移



ぶどう・もも・すももの収穫量(令和3年)

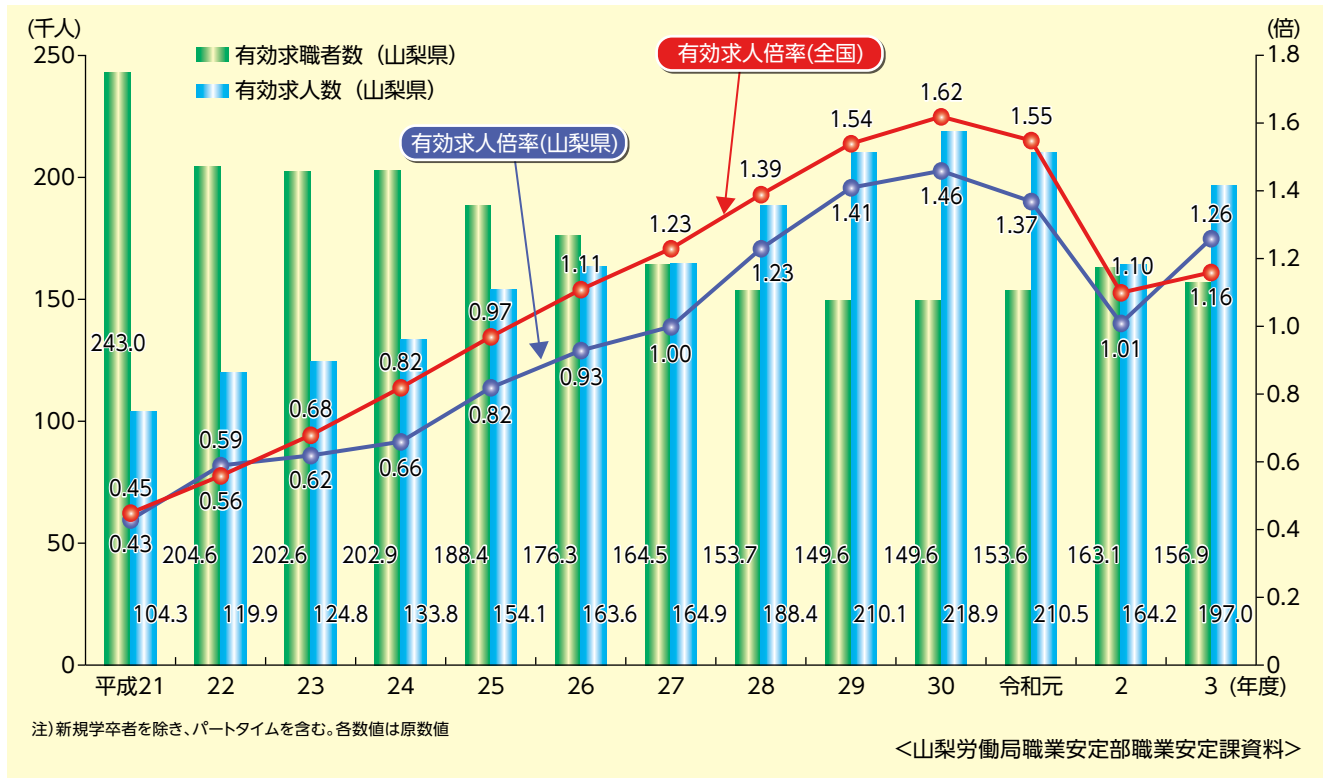


令和2年の本県の農家数は、27,986戸で、平成27年と比べ4,557戸減少しています。また、農産物販売金額1位の部門別経営体数構成比をみると、果樹類が67.7%、稲作20.5%、露地野菜6.6%の順となっています。

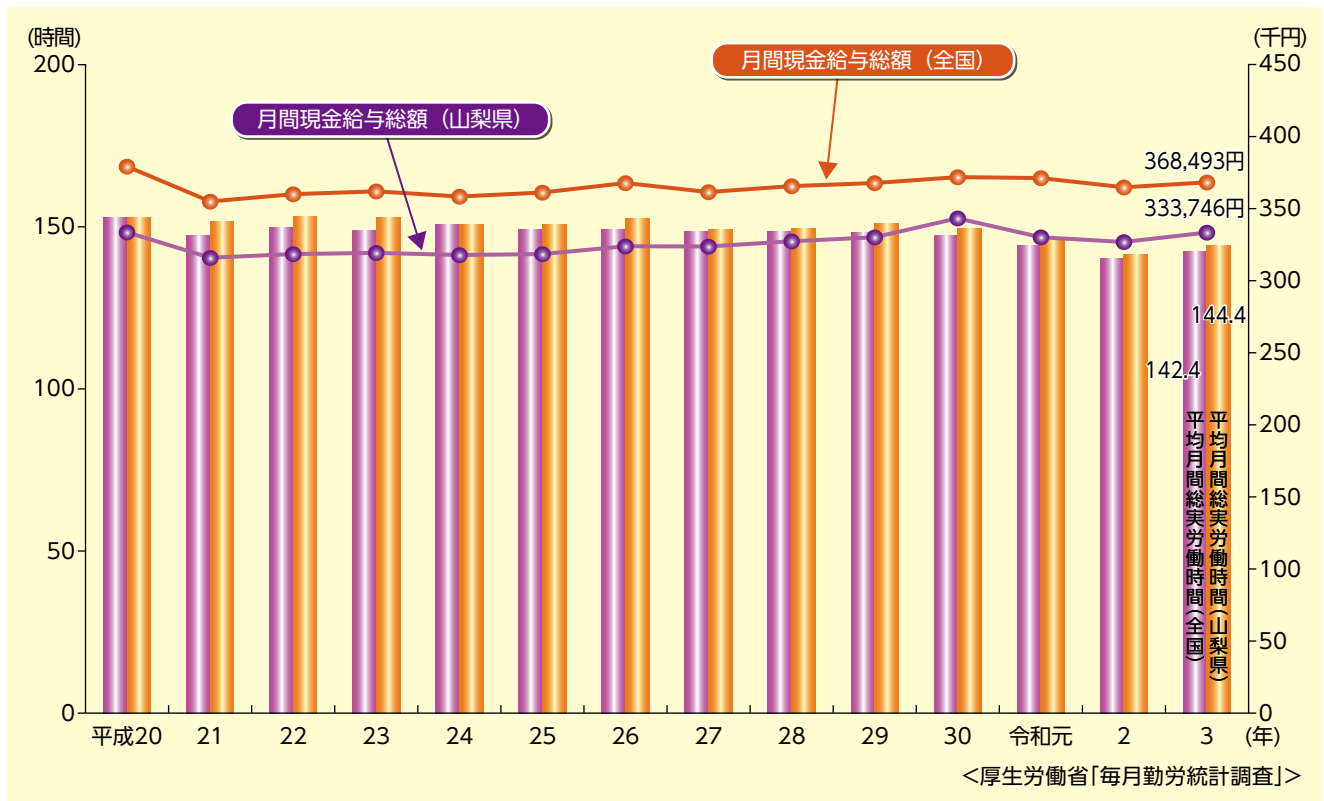
令和3年の農業産出額(1,113億円)の割合は、果実が全体の70.9%を占め、次いで野菜10.7%、畜産7.0%、米5.2%、花き3.5%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

労働

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



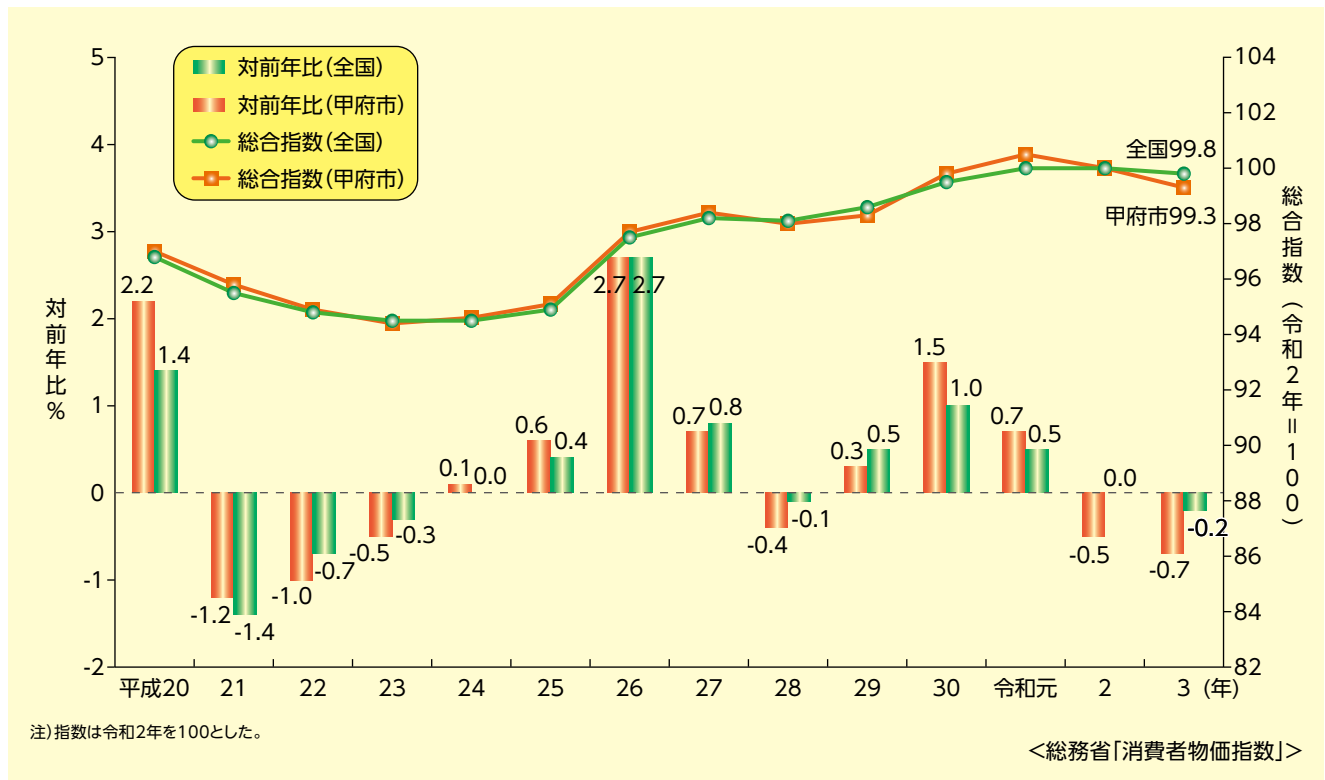
労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移 (30人以上の事業所)



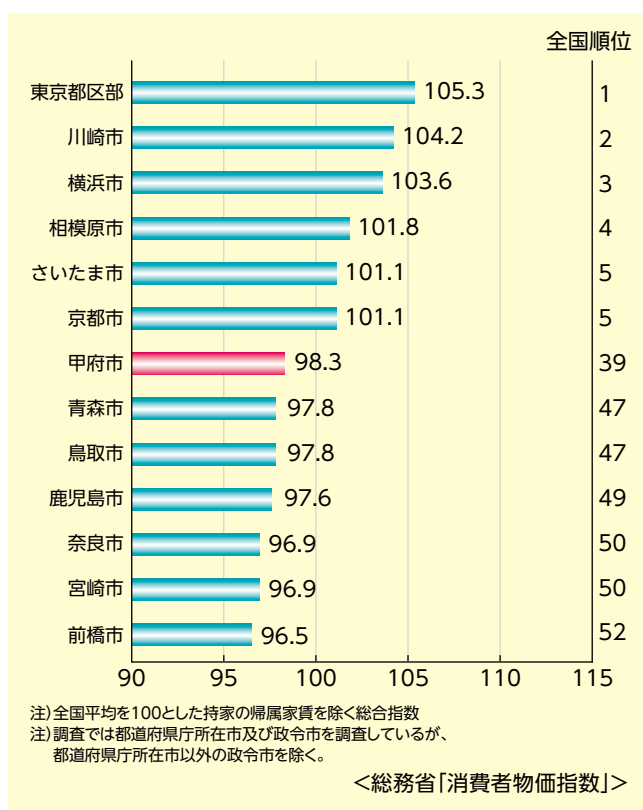
令和3年度の有効求職者数は、15万6,885人で、前年に比べて6,232人(3.8%)減少、有効求人数は、19万7,028人で、前年に比べて3万2,853人(20.0%)増加、有効求人倍率は1.26倍で、前年に比べて0.25ポイントの上昇となりました。

令和3年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間144.4時間で、全国平均の142.4時間を2時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、333,746円で全国平均の368,493円を34,747円下回っています。

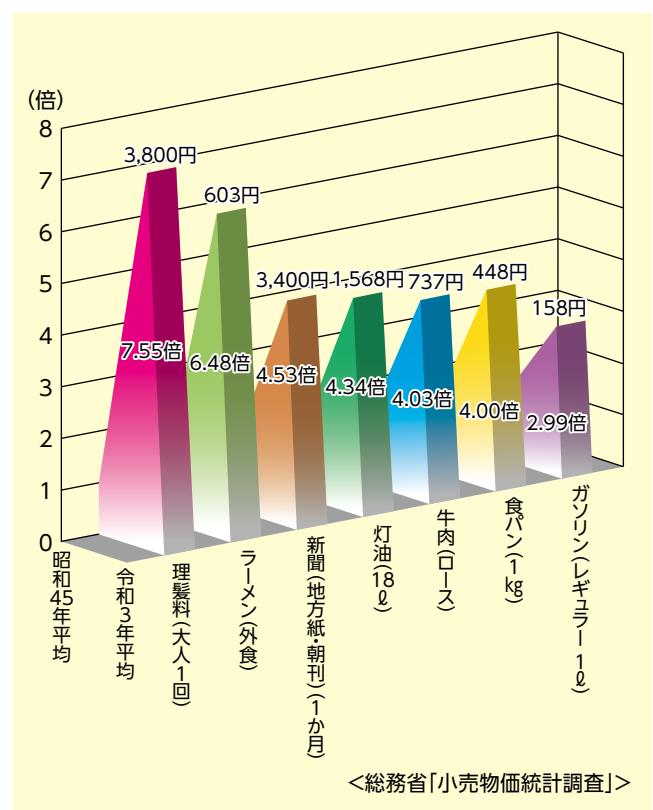
消費者物価指数の推移(各年平均)



消費者物価地域差指数(令和3年平均)



令和3年と昭和45年の小売物価の比較(甲府市)

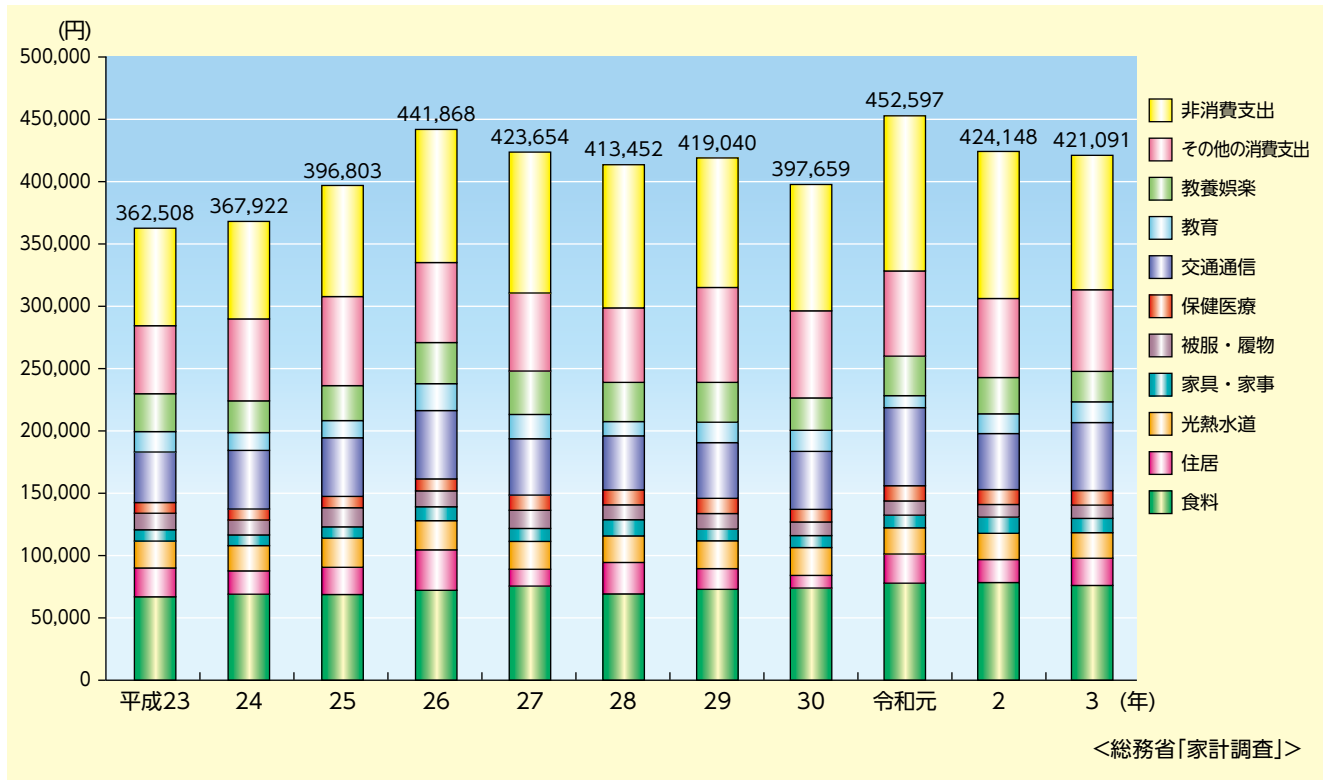


令和3年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、99.3(令和2年=100)となり、前年比0.7%の下落となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は98.3(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ7ポイント低くなっています。

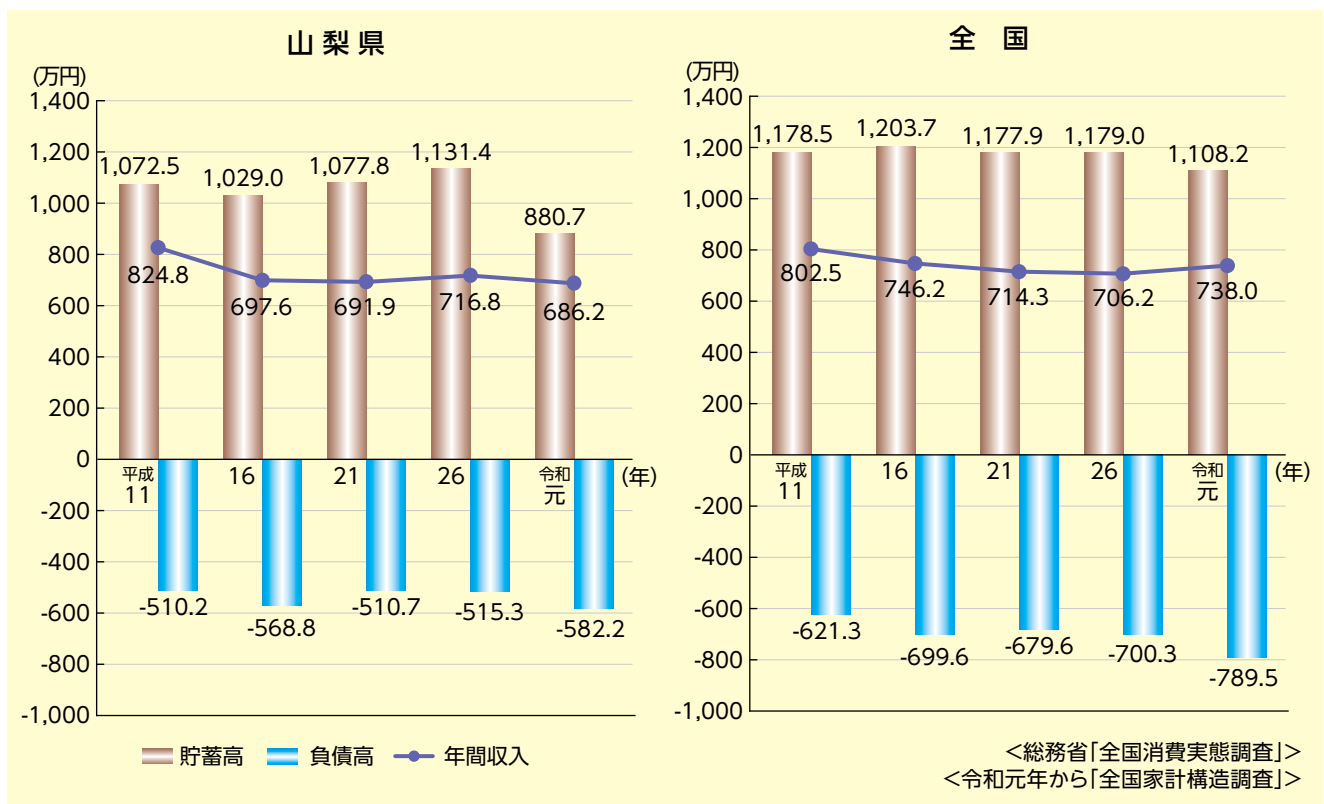
令和3年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.55倍、ラーメン(外食)は6.48倍、新聞は4.53倍などとなっています。

家計

勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)

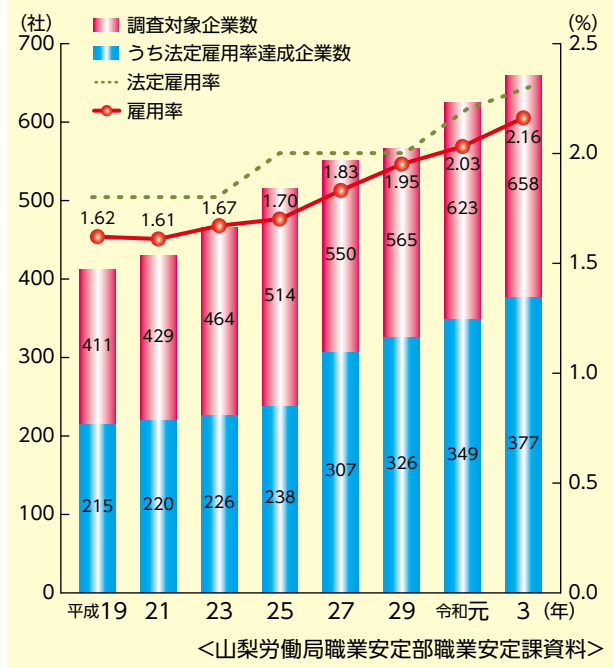


勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移(各年11月末日現在)

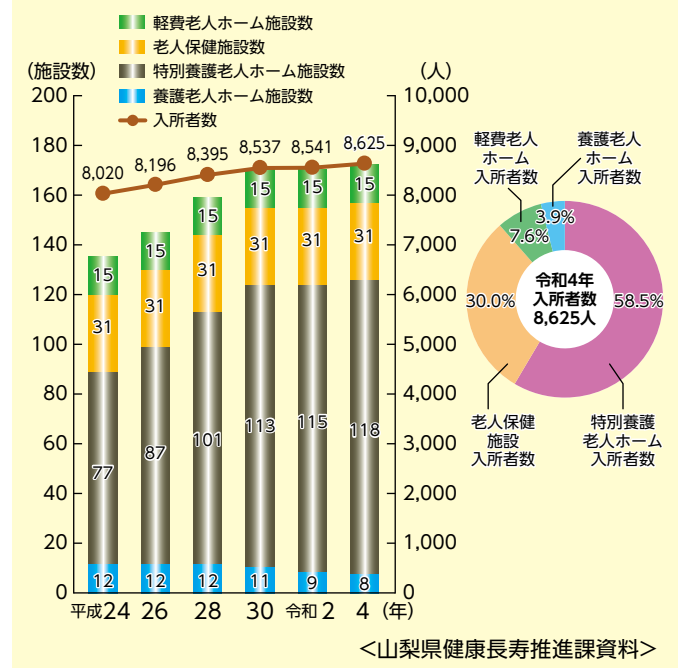


令和3年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は421,091円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が25.6%(107,780円)、消費支出は全体の74.4%(313,311円)となっています。
令和元年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は880万7千円、負債現在高は582万2千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業)(各年6月1日現在)



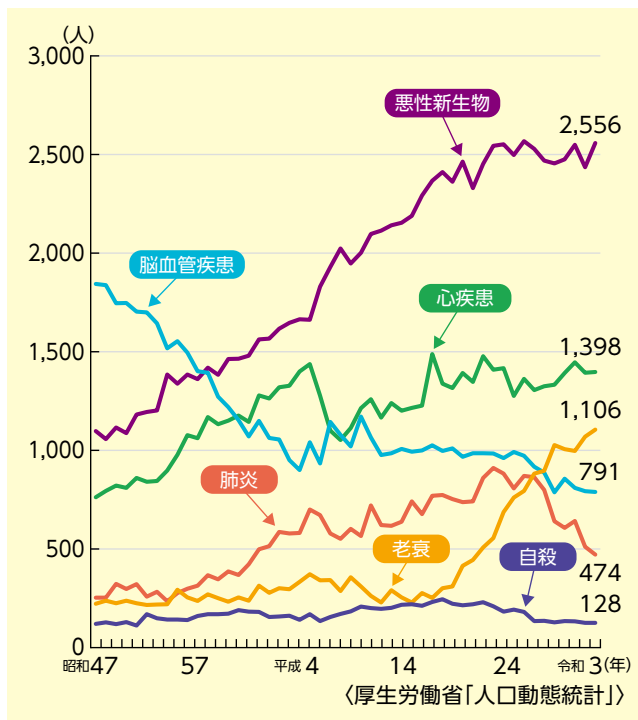
老人関係施設入所者数の推移(各年8月1日現在)



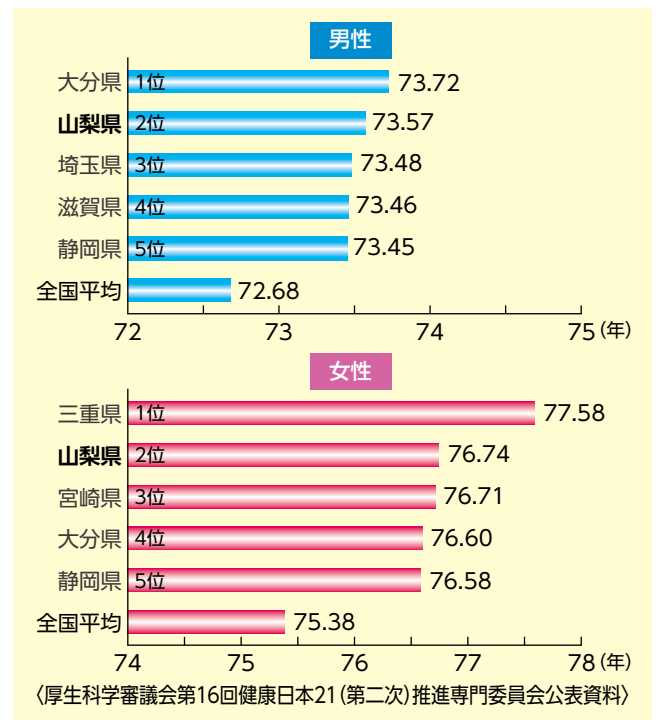
本県の障害者雇用率は令和3年6月1日現在2.16%であり、法定雇用率の2.3%を0.14ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は377社で、達成率は57.3%となっています。

令和4年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,625人で、2年前より84人(0.98%)増加しています。また、施設数は172施設で、平成24年と比べると37施設(27.4%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



健康寿命(令和元年)

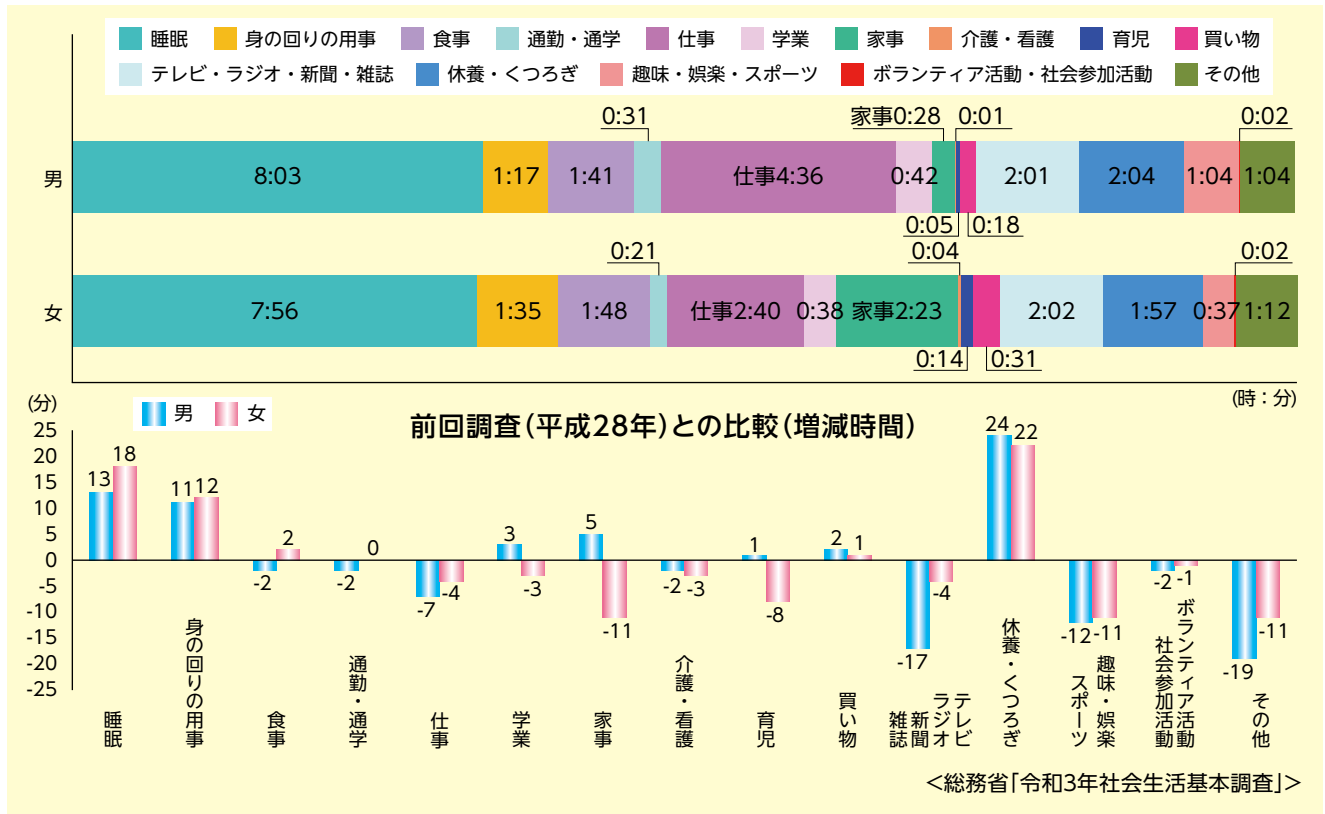


令和3年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。

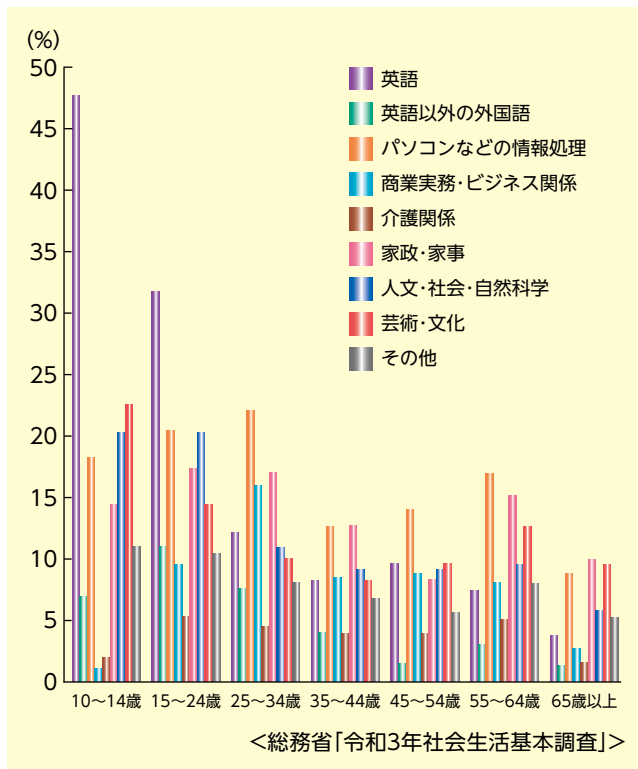
本県の健康寿命は、男性73.57年、女性76.74年で、いずれも全国平均72.68年、75.38年を上回り全国第2位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

社会生活

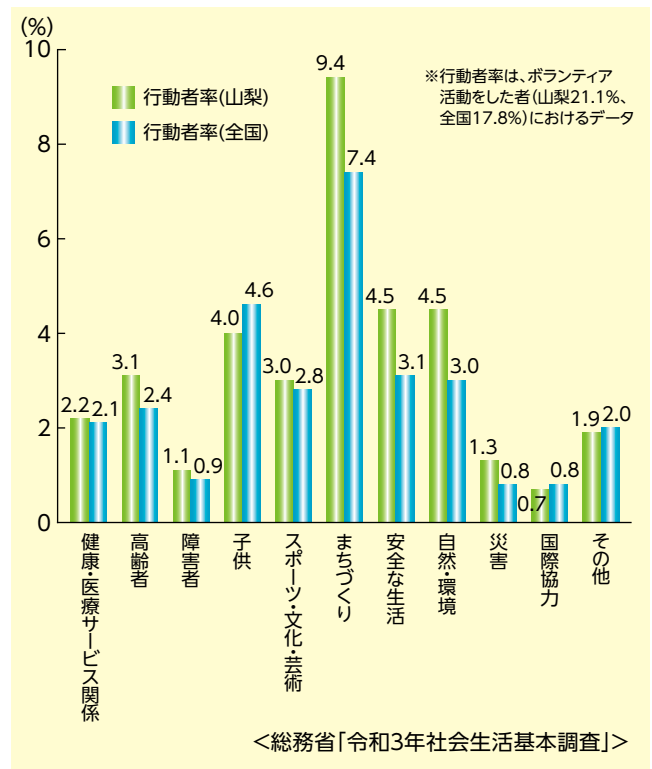
生活行動の種類別平均時間



学習・自己啓発・訓練の行動者率



ボランティア活動

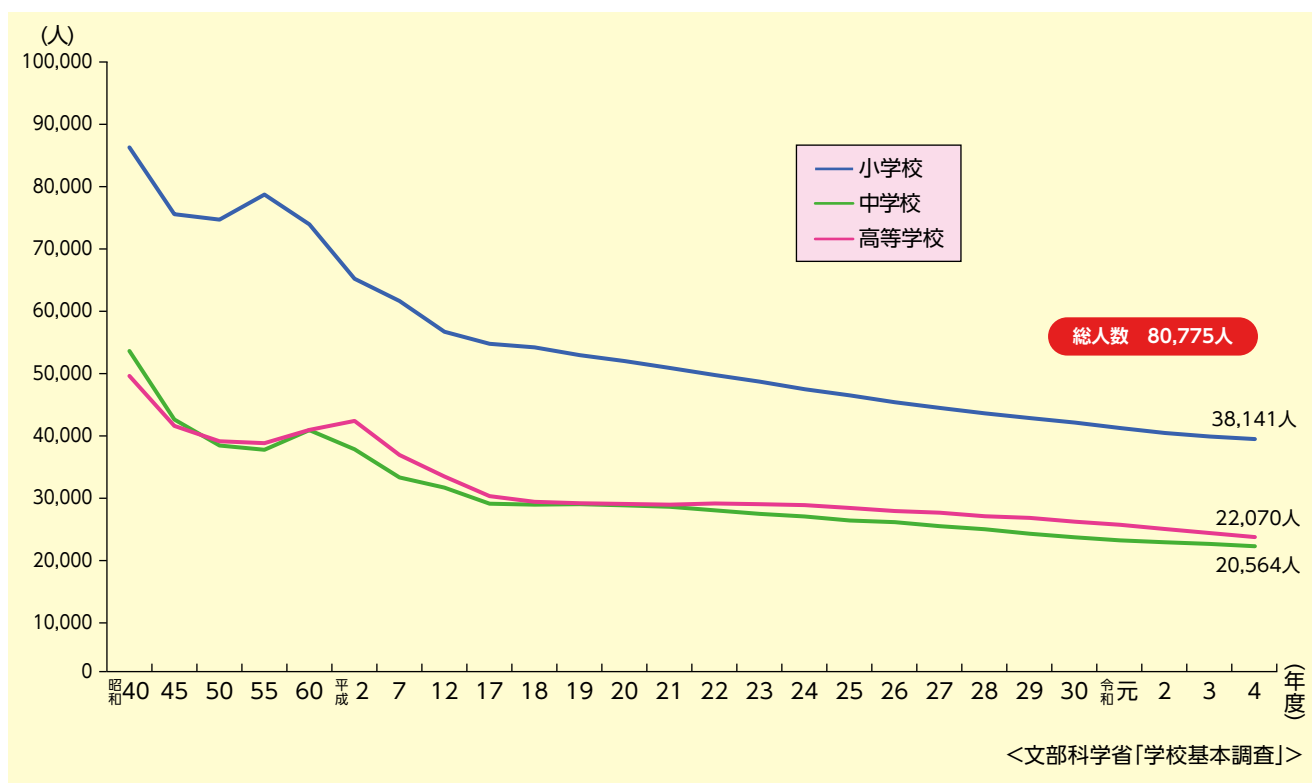


県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は仕事、家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成28年)と比べると、男性の仕事に費やす時間は7分短く、女性の家事に費やす時間も11分短くなっています。

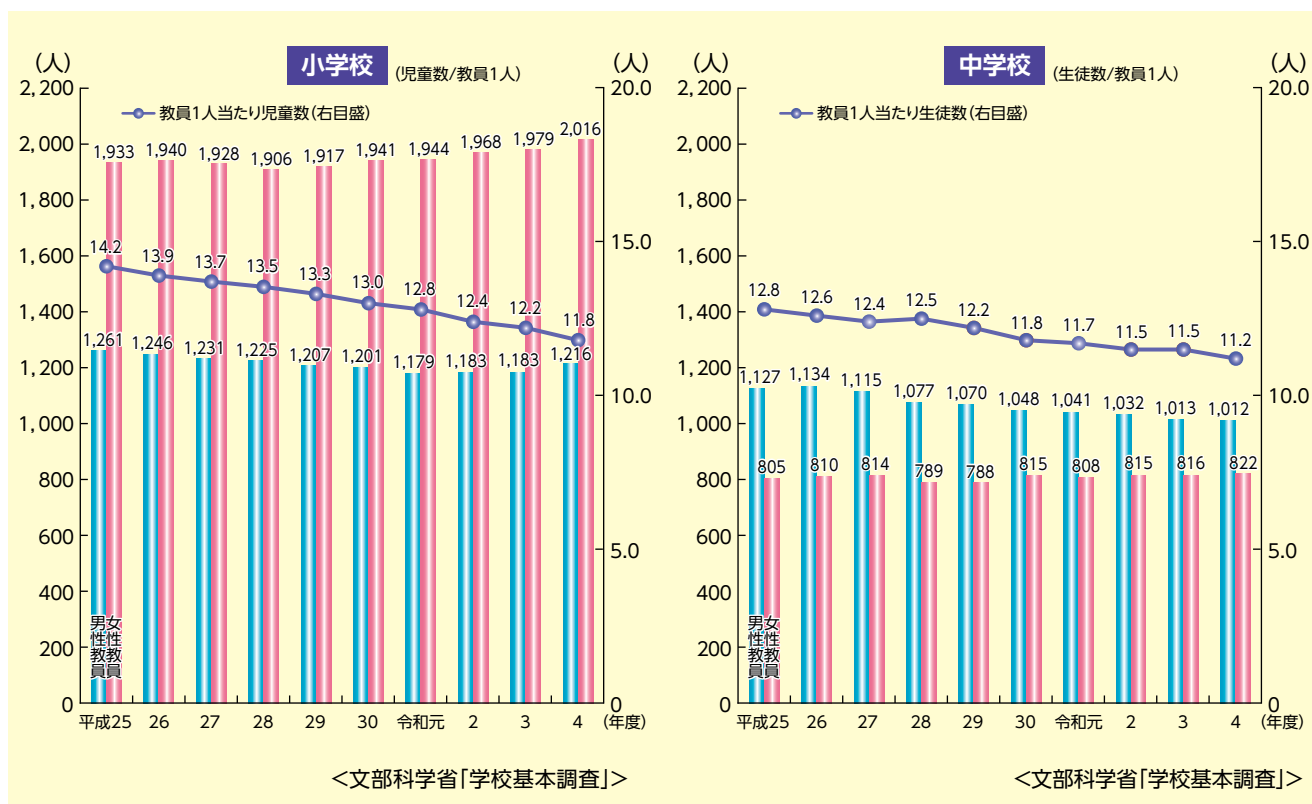
学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、前回(平成28年)調査より10~14歳で英語、パソコンなどの情報処理、25~34歳でパソコンなどの情報処理が伸びています。

ボランティア活動の行動者率は21.1%となっており、全国(17.8%)を上回っています。

児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)

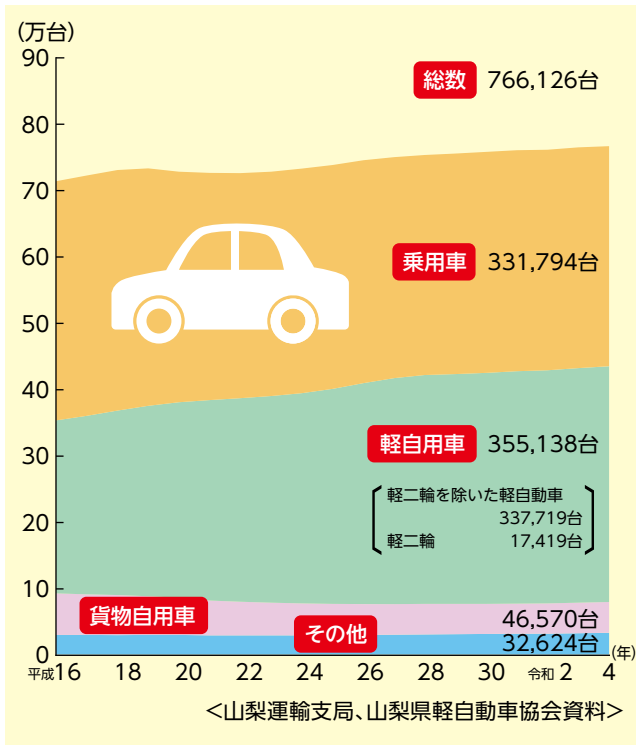


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移

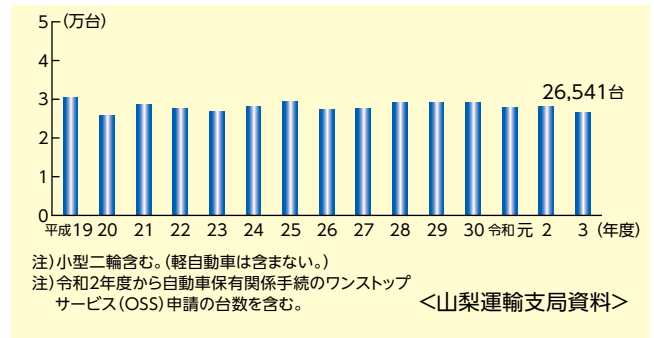


令和4年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生38,141人、中学生20,564人、高校生22,070人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で11.8人、中学校で11.2人となっています。

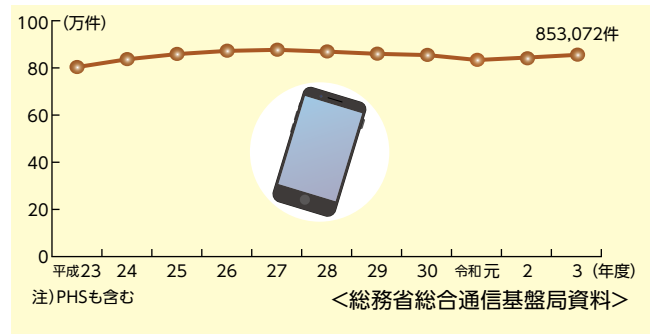
自動車保有台数の推移(各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移

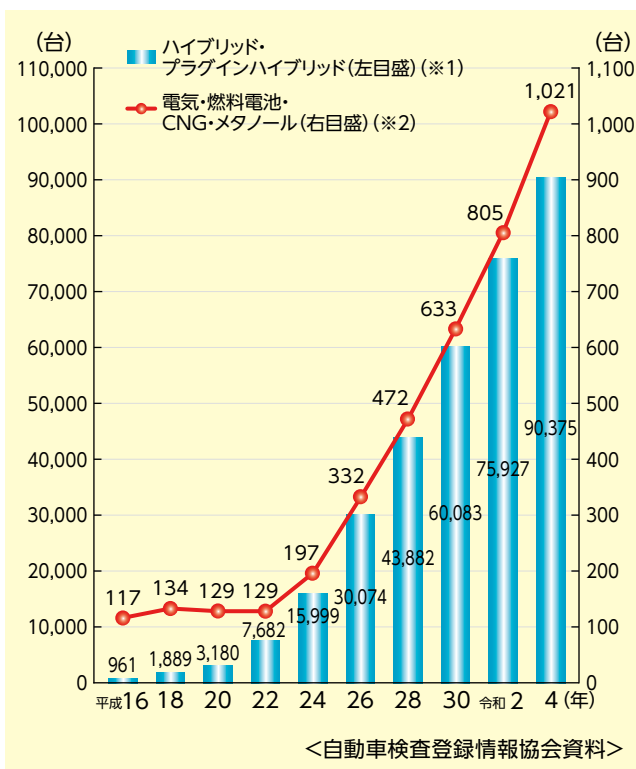


携帯電話契約数の推移

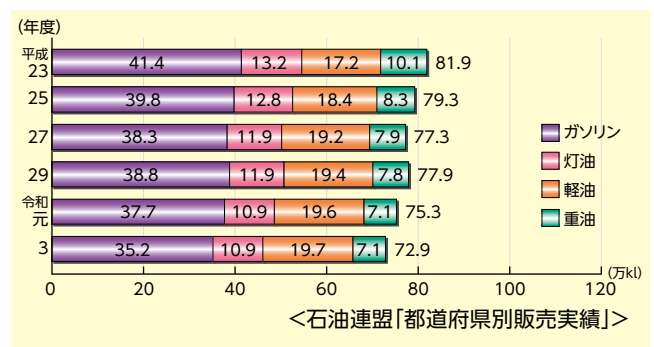


令和4年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、766,126台で、2年前に比べて5,262台増加しています。
令和4年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は853,072件で、前年に比べ11,640件増加しています。

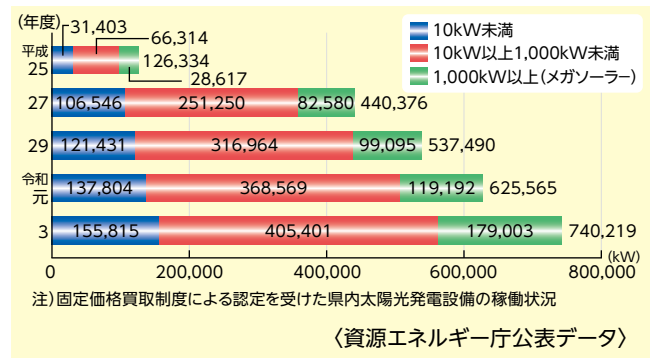
低公害車保有台数の推移(各年3月末日現在)



燃料油販売量の推移

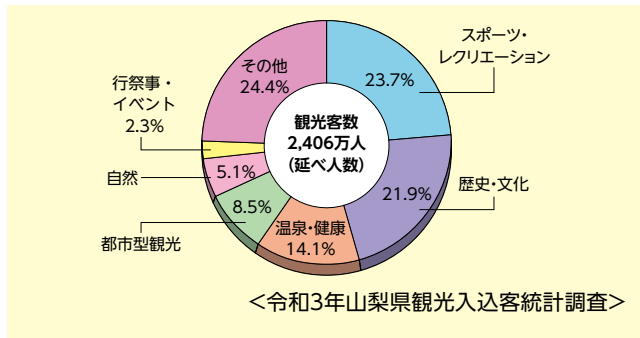


太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)

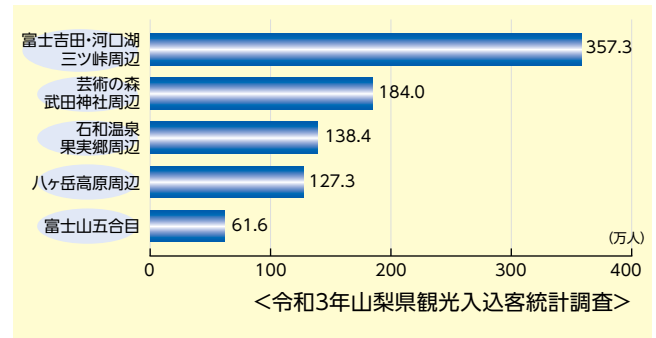


令和4年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が90,375台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が1,021台で、2年前に比べ※1は14,448台(19.0%)、※2は216台(26.8%)増加しています。
令和3年度の太陽光発電設備の稼働状況は740,219kWで、平成25年度に比べ613,885kW、約6倍に増加しています。

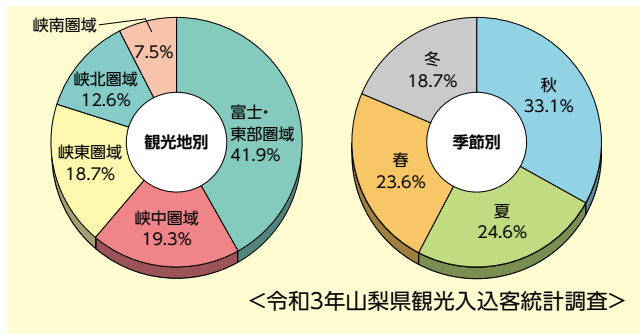
観光分類別観光客数の割合



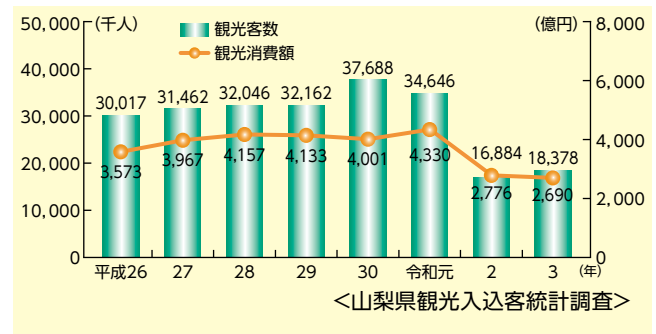
主な観光地別観光客数



観光客数の割合 (観光地別、季節別)

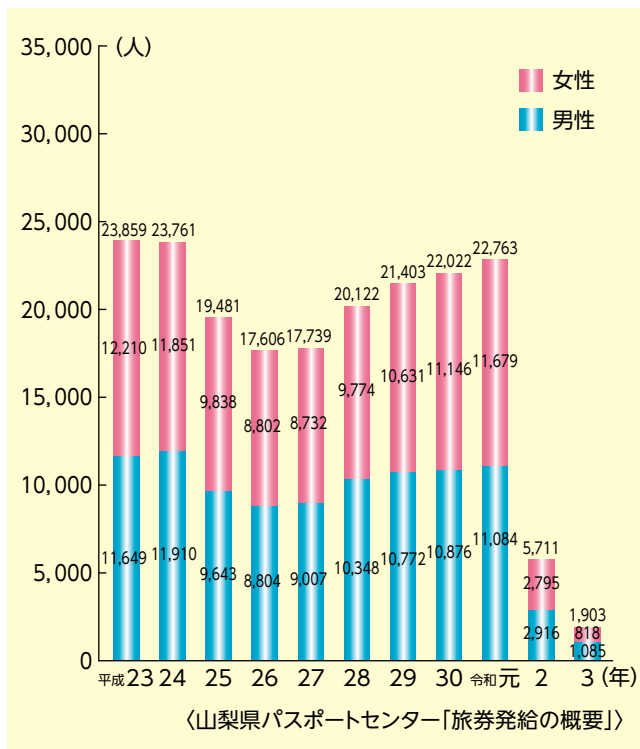


観光客数と観光消費額の推移

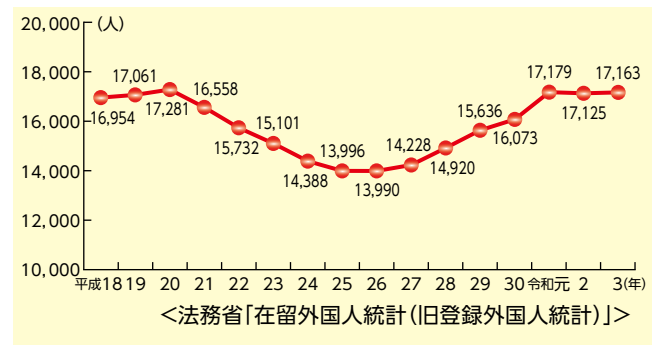


令和3年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数2,406万人で、スポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が一番多く、次に本県の歴史・文化を求めて訪れる人が多くなっています。
 令和3年に本県で最も多く観光客が訪れたのは、季節では秋、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。
 令和3年の観光消費総額は、2,690億円となっています。

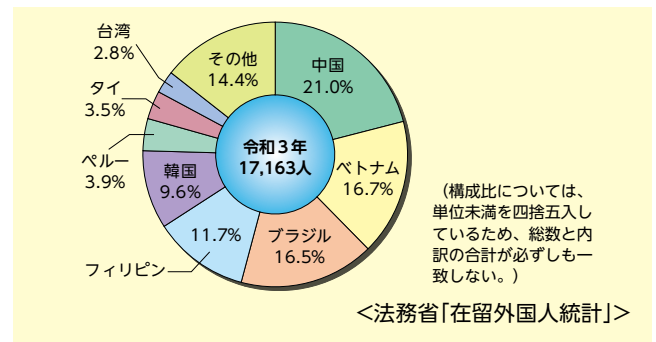
旅券発行数の推移



県内在留外国人 (旧外国人登録者) の推移 (各年12月末日現在)



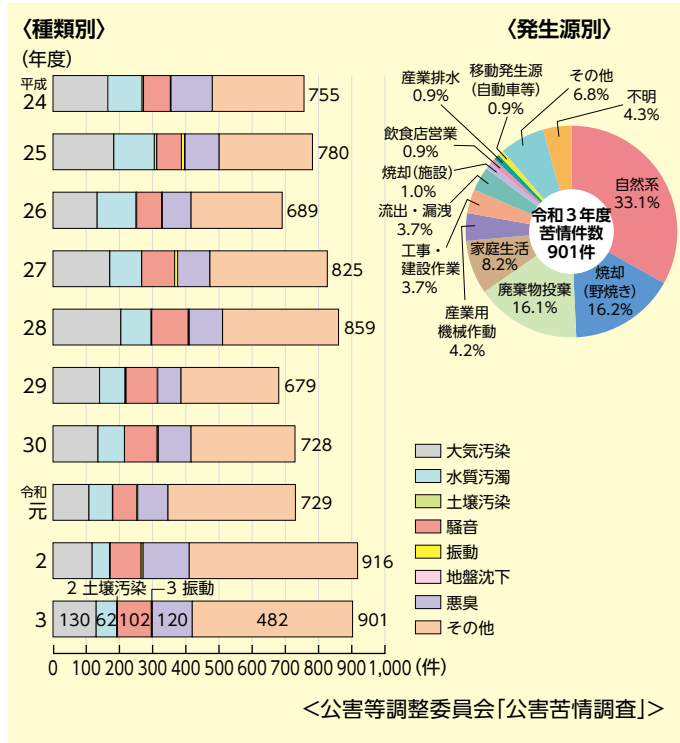
国別在留外国人割合 (令和3年12月末日)



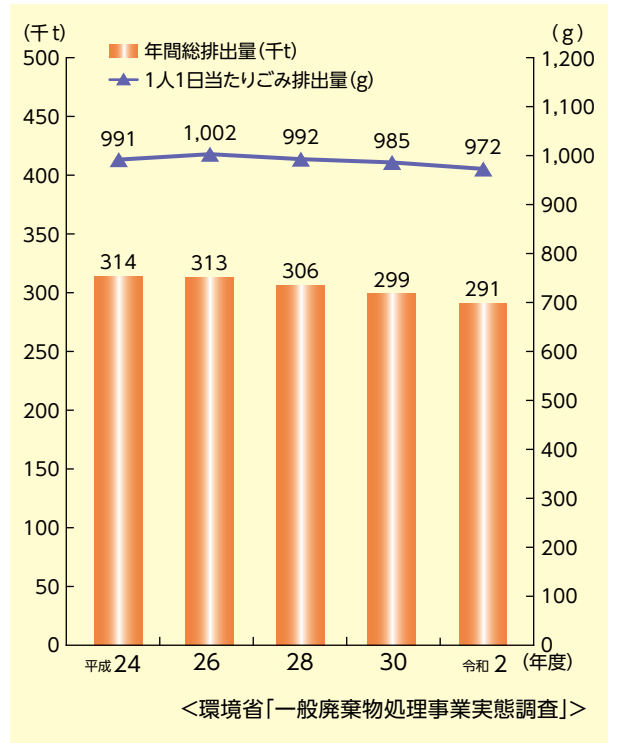
令和3年における旅券発行 (者) 数は1,903人で、前年に比べ3,808人 (66.7%) 減少しています。
 令和3年12月末現在の県内の在留外国人数は17,163人で、国別にみると、中国が最も多く21.0%、次いでベトナム16.7%、ブラジル16.5%の順となっています。

居住環境

公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

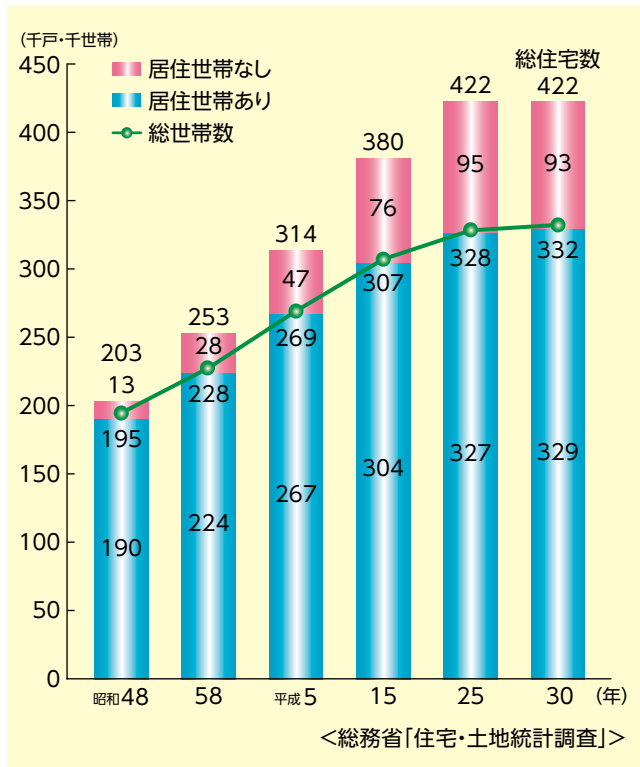


1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

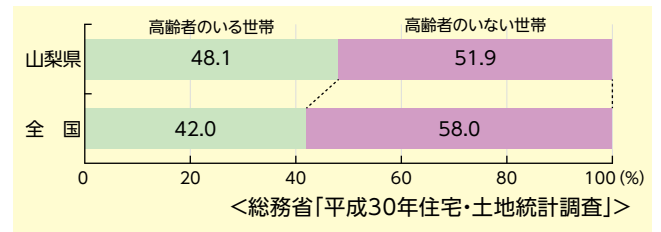


令和3年度の公害苦情件数は901件で、前年度に比べ15件減少しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の46.5%を占めており、その中では、大気汚染、悪臭、騒音、水質汚濁の順となっています。

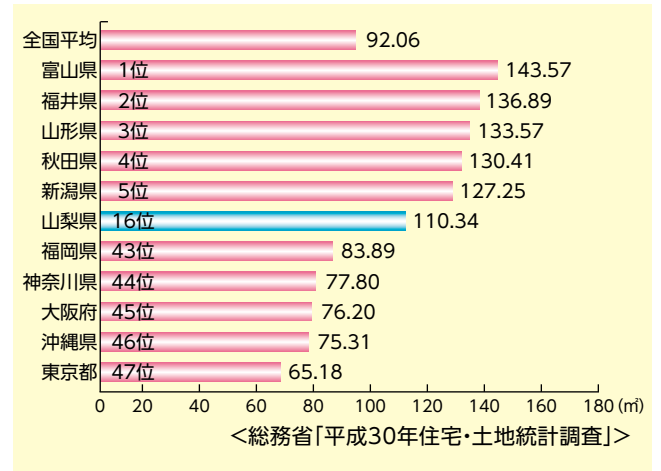
居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



高齢者のいる世帯の割合

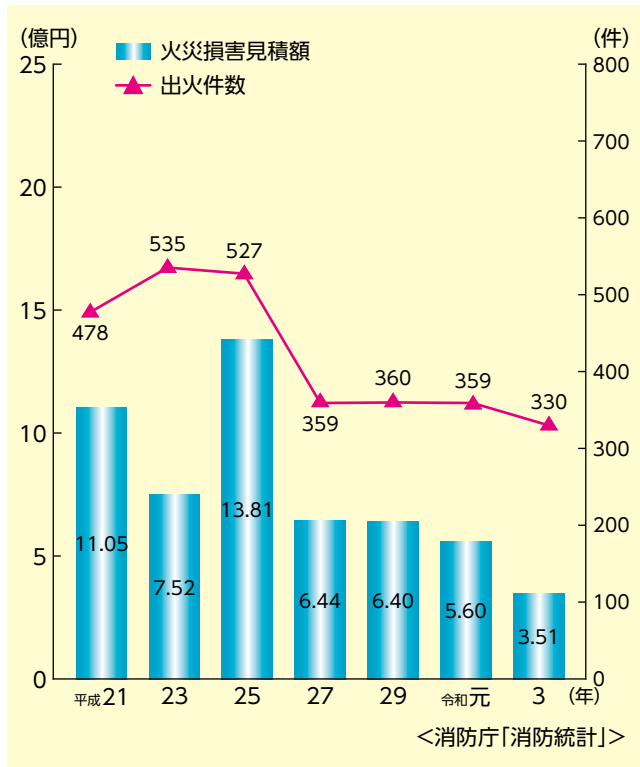


1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

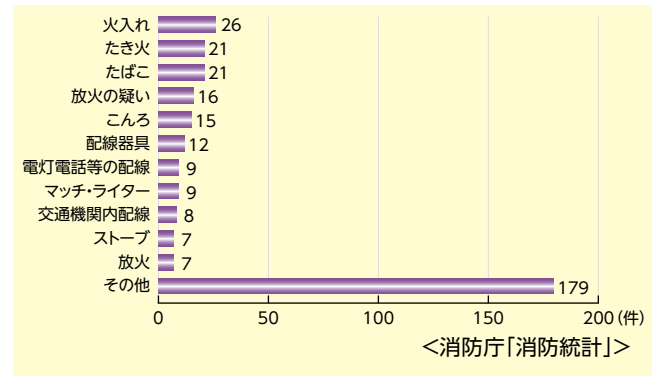


平成30年の居住世帯のある住宅数は32万9千戸、居住世帯のない住宅数は9万3千戸となっています。平成30年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると48.1%で、全国に比べて6.1ポイント高くなっています。平成30年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は110.34㎡で、全国平均(92.06㎡)より18.28㎡多くなっており、全国順位第16位となっています。

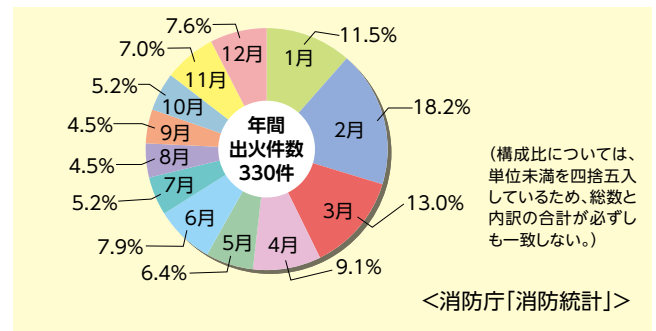
火災発生状況の推移



出火原因別・出火件数上位10位 (令和3年)

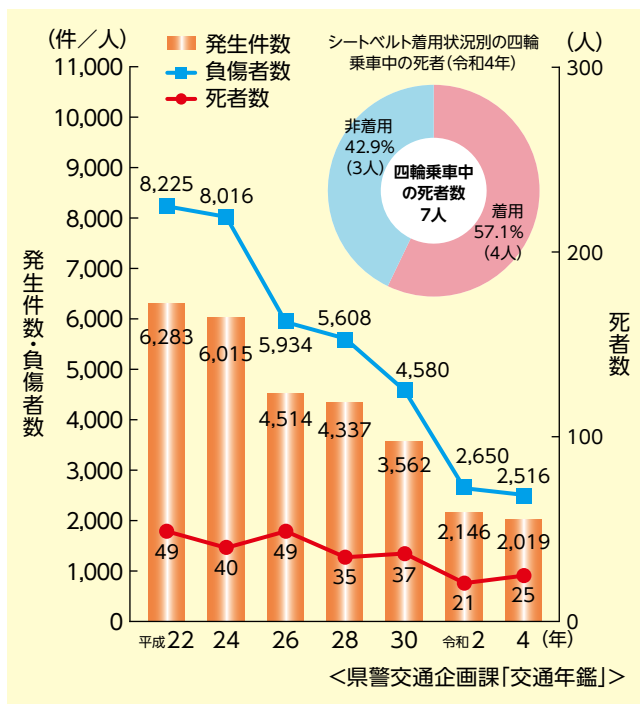


月別火災発生状況 (令和3年)

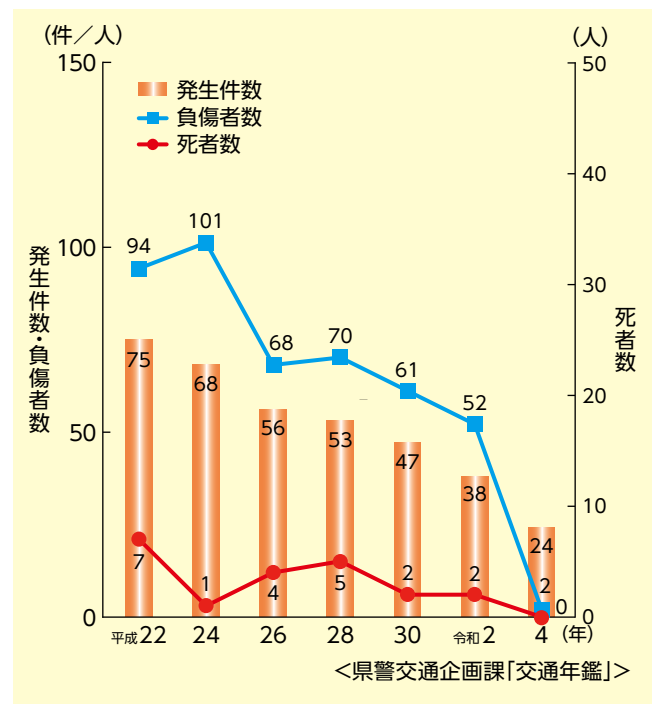


令和3年に発生した火災は330件で、2年前と比べると29件減少しています。損害見積額は、3億5,054万円で2年前より2億909万円減少しています。
また、令和3年中の月別火災発生件数は2月が最も多く、出火原因別・出火件数は、火入れ(枯草焼き等)、たき火、たばこが多くなっています。

交通事故発生件数等の推移



飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和4年の交通事故発生件数は2,019件で、2年前と比べると127件減少し、死者数は25人で、2年前と比べると4人増加しました。
飲酒運転事故発生件数は24件で、2年前と比べると14件減少し、死者数は0人で、2年前と比べると2人減少しました。

第70回(令和4年度)山梨県統計グラフコンクール

入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったことをグラフにして…
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

第1部 (小学校1・2年生)

知事賞 山梨学院小学校 2年 **森川 凜さん**



登山者へのインタビュー結果について、丁寧にまとめてあります。グラフやイラストがとても見やすくすばらしいです。

教育長賞 山梨学院小学校 2年 **加賀美 芽愛さん**



それぞれの都道府県ごと、どの果物が多いのか一目でわかるグラフです。やはり山梨はフルーツ王国なのですね。

教育長賞 山梨学院小学校 2年 **高三野 世織さん**



家族と九九カードゲームをしながら楽しく調査をしてきたことが伝わってきます。記録も丁寧にまとめられています。

入選 山梨学院小学校 2年 **岩間 絢さん**

入選 山梨学院小学校 2年 **志村 六花さん**



調べた3つのことをそれぞれ異なるグラフなどで表すことで、とても見やすくなっています。

登山の様子がよくわかりました。県内の人はもちろん、県外から来るたくさんのお客さんにも見てもらいたい作品ですね。



第2部 (小学校3・4年生)

知事賞 山梨市立加納岩小学校 3年 **三澤 穰さん**



テーマが魅力的で引き付けられました。富士山は圧倒的ですね。語り継いでいきたい自然がたくさんあることに気づかされました。

教育長賞
山梨学院小学校 4年 **高野 伶紗さん**

身長と関係のありそうなことを調査して、その結果を表やグラフ、イラストを使って表現するなど工夫が見られます。



教育長賞
山梨学院小学校 4年 **平山 瑛怜奈さん**

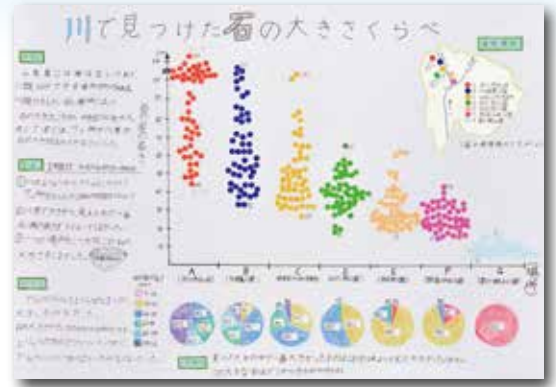
山梨県の図書館の充実ぶりや利用状況が伝わるように、様々なグラフを使って見やすく表現しています。

入選 山梨学院小学校 3年 **津田 泉さん**



素朴な疑問から調査を
スタートして、お店ごとに
円グラフと棒グラフを使って
わかりやすくまとめて
います。

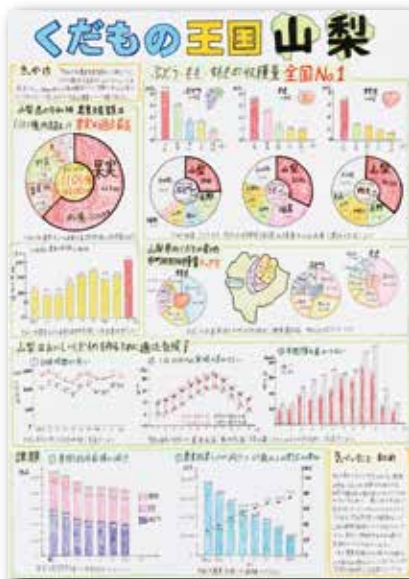
入選 山梨学院小学校 3年 **弘津 佑真さん**



下流に行くほど石の面の長さが短くなって
いることがよくわかります。300個以上の石を
調べたこともすばらしいです。

第3部 (小学校5・6年生)

教育長賞 山梨学院小学校 5年 **石坂 優衣さん**



全国
コンクール
入選

山梨県の果物について、様々な
資料からデータを収集して、
見やすいデザインのグラフで
丁寧に表現しています。

入選 山梨市立八幡小学校 5年 **藤木 美成さん**



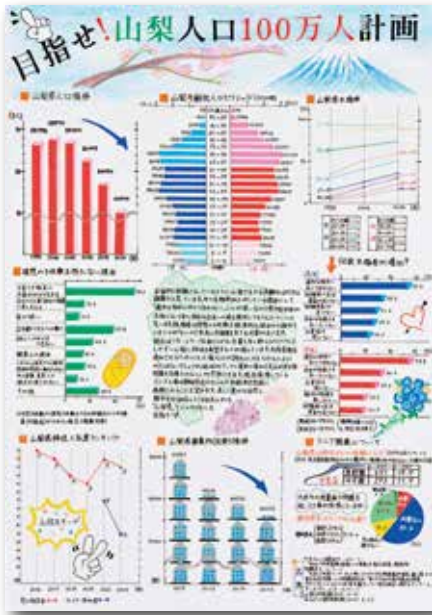
自分の日常生活の中の疑問から
スタートしているところがいいですね。
お兄ちゃんに協力してもらえたことも
よかったですね。

第4部 (中学生)

知事賞

山梨学院中学校 2年

高野 純伶さん



山梨県の人口に関わるデータを収集して、その調査結果を様々なグラフやイラストを使って丁寧に仕上げた力作です。

全国
コンクール
入選

教育長賞

北杜市立甲陵中学校 2年

北村 悠花さん



出身地域ごとに色分けをして、表がわかりやすくなるよう工夫しています。

これまで馴染みのなかった国についても、興味をもつきっかけとなったようです。

教育長賞

山梨学院中学校 3年

末木 琉偉さん



1日に減らすことができる行動別の二酸化炭素の量など、シンプルで見やすく調査したことがまとめられています。

入選

北杜市立甲陵中学校 2年

小宮山 碧生さん

入選

駿台甲府中学校 1年

古川 潤唯さん



山梨県の縄文について、様々な資料からデータを収集して、その結果を土偶のイラストを使うなど、豊かに表現しています。

「制服」について調査した結果をまとめた作品です。下のドーナツグラフが内側と外側で分けられており、工夫した表現が見られます。



第5部 (高等学校以上の生徒・学生及び一般)

入選 山梨県立かえで支援学校高等部 3年
笠井 天翔さん

先生方の幼い頃の夢について知りたいというメッセージが、イラストなどから伝わってくる温かい作品に仕上がっています。



パソコン統計グラフの部 (小学生以上)

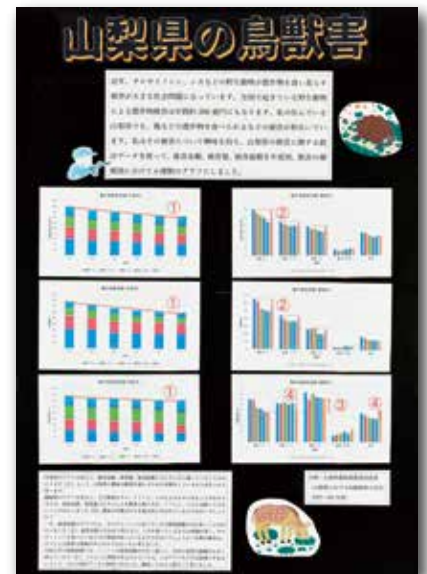
知事賞 山梨学院中学校 2年
千葉 叶惺さん



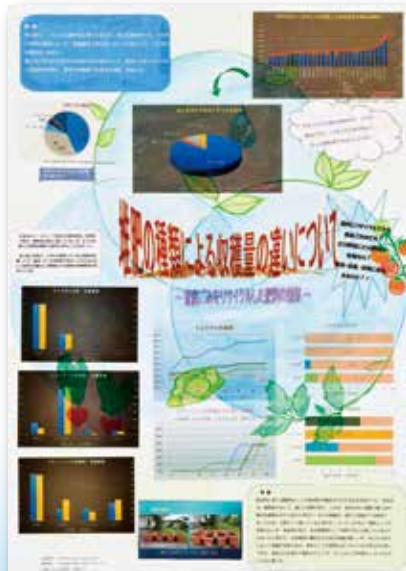
自然災害に目を向けた作品です。様々な種類のグラフを使って、端的に情報をまとめています。災害時への備えの大切さを再認識させられます。

山梨県の鳥獣害について、シンプルながらも適切なグラフを見やすく配置して、しっかりと考察を加えています。

教育長賞 山梨学院中学校 1年
平田 京楓さん



教育長賞 山梨学院中学校 3年
名倉 湧希さん



堆肥の種類による収穫量の違いについて、グラフに立体感を持たせたり、背景に絵を入れたりするなどの工夫が見られます。

シャッター街が増えている現状に課題意識をもち、作成された1枚です。時代の変化に合わせ、小売業の形態も変化してきたことがよくわかります。

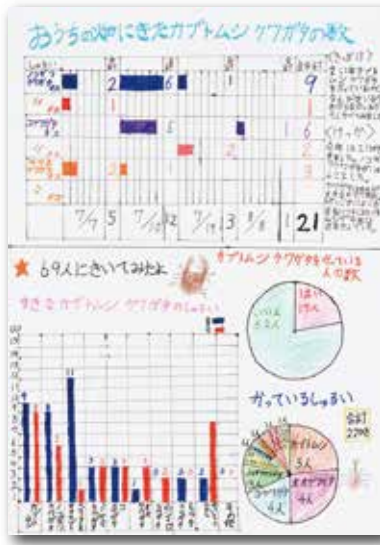
入選 駿台甲府中学校 1年
薬袋 瑛子さん



第1部 山梨学院小学校 2年
吉田 一葉さん



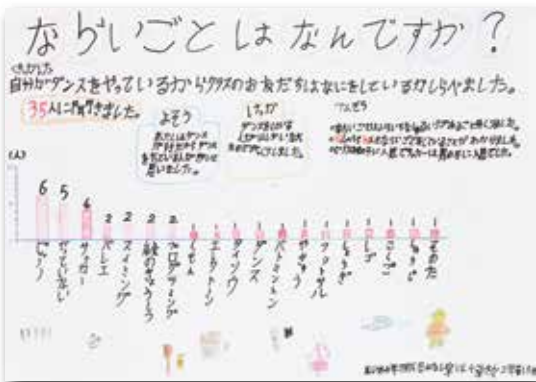
第1部 山梨学院小学校 2年
雨宮 颯太郎さん



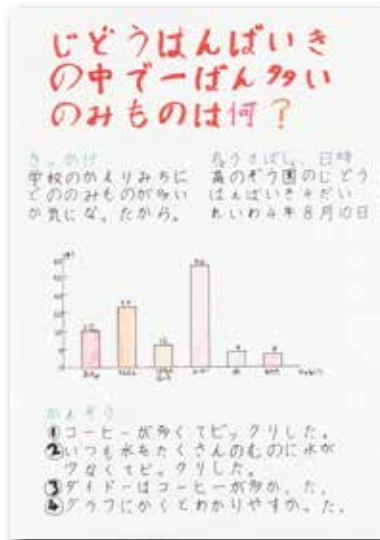
第1部 山梨学院小学校 2年
雨宮 実来さん



第1部 山梨学院小学校 2年
望月 江真さん



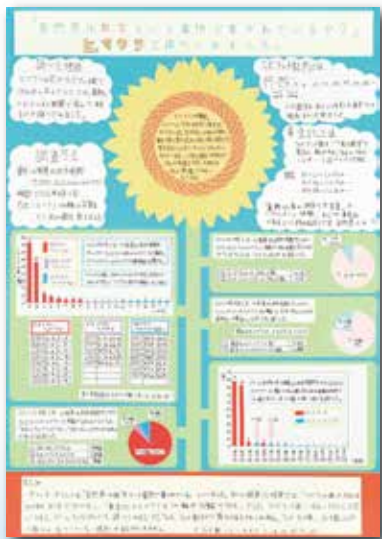
第1部 笛吹市立石和西小学校 2年
菊地 遥佳さん



第2部 山梨学院小学校 3年
藤岡 柚奈さん



第2部 山梨学院小学校 4年
岩間 隆さん



第2部 山梨学院小学校 4年
白須 楓さん



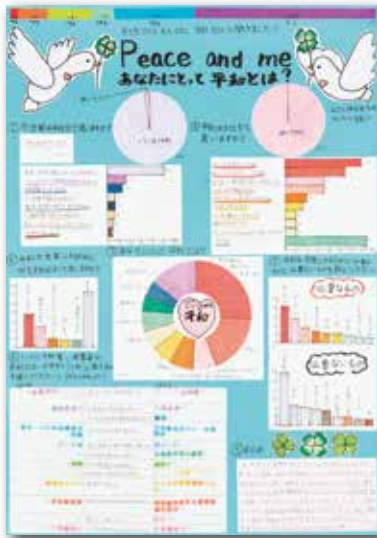
第2部 山梨学院小学校 4年
新海 佐和さん



第2部 山梨学院小学校 4年
戸栗 悠太さん



第2部 山梨学院小学校 4年
平出 紗雪さん



第2部 山梨学院小学校 4年
薬袋 友璃奈さん



第2部 南アルプス市立若草小学校 3年
吉澤 美織さん



第3部 山梨学院小学校 5年
小林 那奈さん



第4部 山梨学院中学校 3年
小尾 千歳さん



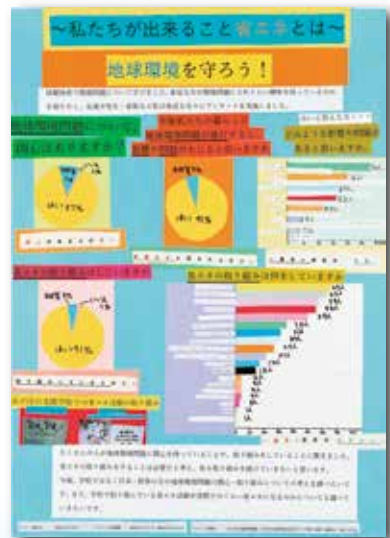
第4部 駿台甲府中学校 1年
岩間 千佳さん



第4部 駿台甲府中学校 1年
三村 耕佑さん



第5部 山梨県立あけぼの支援学校高等部 3年
依田 華音さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で70回目となりました。今回は757点の応募がありました。この作品集には、各部門の知事賞4点、教育長賞9点、入選9点、佳作18点の計40点を掲載してあります。

統計グラフコンクールに チャレンジしてみよう!!

みなさんがつくった統計グラフを募集します。
あなたが調べて感じたことを、統計グラフにまとめてみませんか?
県内在住・在学・在勤で小学生以上の方ならどなたでも応募できます。
入賞作品を集めた展示会も開催します。
入賞作品のうち優秀な作品については、全国コンクールへ出品します。
応募者全員に参加賞をお贈りします。ふるってご応募ください!!



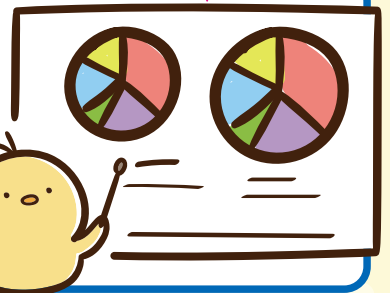
統計グラフの作成手順



応募上の留意点

- 作品の大きさはB2判 (72.8cm×51.5cm)
- 作品は、自分で考えてつくったものに限ります。
- テーマは自由です。ただし、小学校4年生以下の児童については、児童が自ら観察又は調査した結果をグラフにしてください。
- 5人以内なら合作でもかまいません。
- ゆるキャラや五輪マークなど、ほかの人が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 取材資料の出所をグラフの表面に明記してください。
- 使用した統計資料の時点を作品に明記してください。
- 例年6月に作品募集開始になります。詳しい応募要領は、6月以降に、下記「やまなしの統計」ホームページを確認のうえ、ご応募ください。

完成



過去の入賞作品や応募方法については、山梨県統計調査課HPをご覧ください。
自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるってご応募ください。

「山梨県統計調査課」ホームページ <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>



「統計からみたやまなし—令和4年度—」

令和5年3月発行

山梨県県民生活部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎055(223)1340

URL <https://www.pref.yamanashi.jp/toukei/>